

注3

大学番号：57

[平成31年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

事前伺い

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科

学校教育実践学専攻，先端課題実践開発専攻，教科教育実践学専攻

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人兵庫教育大学

令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 教育研究支援部学務課

職名・氏名 フクカチョウ イワ ホリ シンジ
副課長・岩 堀 真 二

電話番号 0795-44-2068

（夜間） 0795-44-2068

F A X 0795-44-2069

e-mail office-rendai-r@ml.hyogo-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科

ページ

<学校教育実践学専攻>

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	11
6. 附帯事項等に対する履行状況等	48
7. その他全般的事項	49

<先端課題実践開発専攻>

1. 調査対象大学等の概要等	57
2. 授業科目の概要	62
3. 施設・設備の整備状況、経費	66
4. 既設大学等の状況	67
5. 教員組織の状況	68
6. 附帯事項等に対する履行状況等	90
7. その他全般的事項	91

<教科教育実践学専攻>

1. 調査対象大学等の概要等	99
2. 授業科目の概要	104
3. 施設・設備の整備状況、経費	110
4. 既設大学等の状況	111
5. 教員組織の状況	112
6. 附帯事項等に対する履行状況等	189
7. その他全般的事項	190

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人兵庫教育大学

(2) 大 学 名

兵庫教育大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒673-1494
兵庫県加東市下久米942-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(カジサ テツヤ) 加治佐 哲也 (平成31年4月)		
研究科長	(ユウマ ヨシカズ) 遊間 義一 (平成31年4月)	(マツモト ツヨシ) 松本 剛 (令和2年4月)	任期満了のため 令和2年4月より変更 (2)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
連合学校教育学研究科 学校教育実践学専攻 （博士課程） 博士（学校教育学）	教育学・保育学 関係	3年	12人	年次 人	36人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和元年度		令和２年度		令和３年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から報告年度までの平均入学定	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 12 (-) [-]	人	人 12 (-) [-]	人	人 () []	人	1.00倍	－	
志願者数	18 (-) [2]	(-) [-]	18 (-) [1]	(-) [-]	() []	() []			
受験者数	17 (-) [1]	(-) [-]	18 (-) [1]	(-) [-]	() []	() []			
合格者数	12 (-) [-]	(-) [-]	12 (-) [1]	(-) [-]	() []	() []			
B 入学者数	12 (-) [-]	(-) [-]	12 (-) [1]	(-) [-]	() []	() []			
入学定員超過率 B／A	1.00		1.00						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次		12 [-] (-)	－ [-] (-)	12 [1] ()	－ [-] ()	[] [] ()	[] [] ()	
2 年次				12 [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
3 年次						[] ()	[] ()	
4 年次								
計		12 [-] (-)		24 [1] ()		[] ()	[] ()	

・ 令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	12 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人	
令和2年度	12 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
合 計		0 人		人	人	

・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)

・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

4

2 授業科目の概要

＜連合学校教育学研究科学校教育実践学専攻＞

(1)－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合 共通 科目	教育実践基礎研究Ⅰ	1	2				1	2			
	教育実践基礎研究Ⅱ	1	2			2	1				
	小計(2科目)	－	4	0	0	2	1	2			
専門 科目	(学校教育方法連合講座)										
	学校教育の方法	1		2		2					
	教育内容・方法特別研究	1		2		1	1				
	教育工学・教育情報学特別研究	1		2		3	1				
	教授学習・発達特別研究	1		2		10	3				
	学校教育学特別研究	1		2		1	2				
	学校教育史特別研究	1		2		1	1				
	学校教育社会学特別研究	1		2		3					
	学校教育経営学特別研究	1		2		5	3				
	学級経営心理学特別研究	1		2		1					
	(学校教育臨床連合講座)										
	学校教育の臨床	1		2		2					
	生徒指導特別研究	1		2		1					
	学校教育相談特別研究	1		2		12	5	1	1		
	学校精神保健学特別研究	1		2		5		1			
	障害児発達支援教育学特別研究	1		2		6	3				
	障害児発達支援心理学特別研究	1		2		5	3				
	障害児発達支援行動学特別研究	1		2		5					
	小計(16科目)	－	0	32	0	60	22	2	1		
課題 研究	課題研究Ⅰ	1	2			60	22	2	1		
	課題研究Ⅱ	1	2			60	22	2	1		
	課題研究Ⅲ	2	2			60	22	2	1		
	課題研究Ⅳ	2	2			60	22	2	1		
	課題研究Ⅴ	3	2			60	22	2	1		
	小計(5科目)	－	10	0	0	60	22	2	1		
合計(23科目)		－	14	32	0	60	22	2	1		
卒業要件及び履修方法											
【修了要件】 本研究科に3年以上(特に優れた研究業績をあげた者と認めた場合は、2年で修了を可とする。)在学し、授業科目22単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び試験に合格すること。 なお、学位論文を提出するに当たっては、本研究科が実施する博士候補認定試験に合格していることが必要となっている。											
【履修方法】 〔総合共通科目〕 総合共通科目の「教育実践基礎研究Ⅰ」(2単位)、「教育実践基礎研究Ⅱ」(2単位)をそれぞれ必修科目として計4単位修得する。 〔専門科目〕 専門科目計4科目8単位以上を修得する。 所属する連合講座が開設する専門科目のうちから3科目6単位以上を選択する。 本専攻以外の専攻の連合講座が開設する授業科目のうちから1科目2単位以上を選択することができる。 〔課題研究〕 課題研究5科目計10単位を修得する。											

【令和2年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合 共通 科目	教育実践基礎研究Ⅰ	1	2				3	0			
	教育実践基礎研究Ⅱ	1	2				2	2			
	小計(2科目)	－	4	0	0	5	2				
専門 科目	(学校教育方法連合講座)										
	学校教育の方法	1		2		1	1				
	教育内容・方法特別研究	1		2		1	2				
	教育工学・教育情報学特別研究	1		2		3	1				
	教授学習・発達特別研究	1		2		9	4				
	学校教育学特別研究	1		2		1	1				
	学校教育史特別研究	1		2		2					
	学校教育社会学特別研究	1		2		4	2				
	学校教育経営学特別研究	1		2		6	4				
	学級経営心理学特別研究	1		2		1					
	(学校教育臨床連合講座)										
	学校教育の臨床	1		2		2	1				
	生徒指導特別研究(未開講)	1		2							
	学校教育相談特別研究	1		2		11	7	1	0		
	学校精神保健学特別研究	1		2		5	1	1			
	障害児発達支援教育学特別研究	1		2		9	1				
	障害児発達支援心理学特別研究	1		2		6	2				
	障害児発達支援行動学特別研究	1		2		5					
	小計(16科目)	－	0	32	0	66	25	2	0		
課題 研究	課題研究Ⅰ	1	2			66	25	2	0		
	課題研究Ⅱ	1	2			66	25	2	0		
	課題研究Ⅲ	2	2			66	25	2	0		
	課題研究Ⅳ	2	2			66	25	2	0		
	課題研究Ⅴ	3	2			66	25	2	0		
	小計(5科目)	－	10	0	0	66	25	2	0		
合計(23科目)		－	14	32	0	66	25	2	0		
卒業要件及び履修方法											
【修了要件】 本研究科に3年以上(特に優れた研究業績をあげた者と認めた場合は、2年で修了を可とする。)在学し、授業科目22単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び試験に合格すること。 なお、学位論文を提出するに当たっては、本研究科が実施する博士候補認定試験に合格していることが必要となっている。											
【履修方法】 〔総合共通科目〕 総合共通科目の「教育実践基礎研究Ⅰ」(2単位)、「教育実践基礎研究Ⅱ」(2単位)をそれぞれ必修科目として計4単位修得する。 〔専門科目〕 専門科目計4科目8単位以上を修得する。 所属する連合講座が開設する専門科目のうちから3科目6単位以上を選択する。 本専攻以外の専攻の連合講座が開設する授業科目のうちから1科目2単位以上を選択することができる。 〔課題研究〕 課題研究5科目計10単位を修得する。											

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合 共通 科目	教育実践基礎研究Ⅰ	1	2			1	1				
	教育実践基礎研究Ⅱ	1	2			4					
	小計(2科目)	－	4	0	0	5	1				
	(学校教育方法連合講座)										
	学校教育の方法	1		2		2					
	教育内容・方法特別研究	1		2		1	2				

専 門 科 目	教育学・教育情報学特別研究	1		2		3	1					
	教授学習・発達特別研究	1		2		11	4					
	学校教育学特別研究	1		2		1	2					
	学校教育史特別研究	1		2		2						
	学校教育社会学特別研究	1		2		3	1					
	学校教育経営学特別研究	1		2		5	4					
	学級経営心理学特別研究	1		2		1						
	(学校教育臨床連合講座)											
	学校教育の臨床	1		2		2						
	生徒指導特別研究(未開講)	1		2								
	学校教育相談特別研究	1		2		12	5		1			
	学校精神保健学特別研究	1		2		5		2				
	障害児発達支援教育学特別研究	1		2		8	2					
	障害児発達支援心理学特別研究	1		2		6	2					
	障害児発達支援行動学特別研究	1		2		5						
	小計(16科目)	-	0	32	0	66	23	2	1			
課 題 研 究	課題研究Ⅰ	1	2			66	23	2	1			
	課題研究Ⅱ	1	2			66	23	2	1			
	課題研究Ⅲ	2	2			66	23	2	1			
	課題研究Ⅳ	2	2			66	23	2	1			
	課題研究Ⅴ	3	2			66	23	2	1			
	小計(5科目)	-	10	0	0	66	23	2	1			
合計(23科目)		-	14	32	0	66	23	2	1			
卒業要件及び履修方法												
【修了要件】 本研究科に3年以上(特に優れた研究業績をあげた者と認めた場合は、2年で修了を可とする。)在学し、授業科目22単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び試験に合格すること。 なお、学位論文を提出するに当たっては、本研究科が実施する博士候補認定試験に合格していることが必要となっている。 【履修方法】 〔総合共通科目〕 総合共通科目の「教育実践基礎研究Ⅰ」(2単位)、「教育実践基礎研究Ⅱ」(2単位)をそれぞれ必修科目として計4単位修得する。 〔専門科目〕 専門科目計4科目8単位以上を修得する。 所属する連合講座が開設する専門科目のうちから3科目6単位以上を選択する。 本専攻以外の専攻の連合講座が開設する授業科目のうちから1科目2単位以上を選択することができる。 〔課題研究〕 課題研究5科目計10単位を修得する。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・ 担当教員の見直しにより、「教育実践基礎研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授0」「講師2」から「教授1」「講師0」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「教育実践基礎研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」から「教授4」「准教授0」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「教育内容・方法特別研究」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「教授学習・発達特別研究」の専任教員等の配置を「教授10」「准教授3」から「教授11」「准教授4」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「学校教育史特別研究」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授2」「准教授0」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「学校教育社会学特別研究」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「学校教育経営学特別研究」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「学校教育相談特別研究」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「学校精神保健学特別研究」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「障害児発達支援教育学特別研究」の専任教員等の配置を「教授6」「准教授3」から「教授8」「准教授2」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「障害児発達支援心理学特別研究」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授3」から「教授6」「准教授2」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「課題研究Ⅰ～Ⅴ」の専任教員等の配置を「教授60」「准教授22」から「教授66」「准教授23」に変更。

【令和2年度】

- ・担当教員の見直しにより、「教育実践基礎研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授3」「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践基礎研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授2」「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「学校教育の方法」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教授学習・発達特別研究」の専任教員等の配置を「教授11」「准教授4」から「教授9」「准教授4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「学校教育学特別研究」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授2」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「学校教育社会学特別研究」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授1」から「教授4」「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「学校教育の臨床」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授4」から「教授6」「准教授4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「学校教育相談特別研究」の専任教員等の配置を「教授12」「准教授5」「助教1」から「教授11」「准教授7」「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「学校精神保健学特別研究」の専任教員等の配置を「教授5」「講師2」から「教授5」「准教授1」「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「障害児発達支援教育学特別研究」の専任教員等の配置を「教授8」「准教授2」から「教授9」「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「課題研究Ⅰ～Ⅴ」の専任教員等の配置を「教授66」「准教授23」「講師2」「助教1」から「教授66」「准教授25」「講師2」に変更。

- (注) ・ 2(1)―① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
7 科目	16 科目	0 科目	23 科目	7 科目 []	16 科目 []	0 科目 []	23 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	生徒指導特別研究	2	1	専門	選択	担当教員不在のため
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学の所見：

専門科目については十分な数の授業科目があり、教育の質は確保されている。

学生への周知方法：

- ・ 入学時オリエンテーションにおいて説明
- ・ 履修手引き（便覧）に記載

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{1}{23} = \boxed{4.34} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	122,706 m ²	0 m ²	0 m ²	122,706 m ²				
	運動場用地	84,936 m ²	0 m ²	0 m ²	84,936 m ²				
	小 計	207,642 m ²	0 m ²	0 m ²	207,642 m ²				
	そ の 他	150,705 m ²	0 m ²	0 m ²	150,705 m ²				
	合 計	358,347 m ²	0 m ²	0 m ²	358,347 m ²				
(2) 校 舎		専 用 25,016 m ² (25,016 m ²)	共 用 0 m ² (0 m ²)	共用する他の 学校等の専用 0 m ² (0 m ²)	計 25,016 m ² (25,016 m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室 33 室	演 習 室 40 室	実験実習室 87 室	情報処理学習施設 6 室 (補助職員 0 人)	語学学習施設 2 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 連合学校教育学研究科			室 数 91 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種 電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	兵庫教育大学分 (大学全体) 左記の図書・設備は大学 全体の許容としても 利用する。	
	連合学校教育学 研究科	357,653 [83,709] (357,653 [83,709])	3,725 [1,248] (3,725 [1,248])		4,439 [3,870] (4,439 [3,870])	10,989 (10,989)	172 (172)		0 (0)
	計	357,653 [83,709] (357,653 [83,709])	3,725 [1,248] (3,725 [1,248])		4,439 [3,870] (4,439 [3,870])	10,989 (10,989)	172 (172)		0 (0)
(6) 図 書 館		面 積 3,446 m ²		閱 覧 座 席 数 205		収 納 可 能 冊 数 300,833		兵庫教育大学分 (大学 全体)	
(7) 体 育 館		面 積 1,113 m ²		体育館以外のスポーツ施設の概要 ブルース一式、武道場一式、ダンスレッスン室、トレーニング室、 和弓場一式、洋弓場一式、野球場1面、ソフトボール場1面、 ハンドボール場1面、ラグビー・サッカー場1面、テニスコート 9面				兵庫教育大学分 (大学 全体)	
(8) 経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	経費の 見 積 り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	国立大学法人兵庫教育大学										備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
学校教育学部	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
	4	160	—	640	学士（学校教育 学）	1.05	1.04	—	昭和57	兵庫県加東市下久米942-1	
大学院学校教育研究科										兵庫県加東市下久米942-1	
人間発達教育専攻	2	115	—	230	修士（学校教育 学）	1.04	1.01	—	昭和55		平成31年度定員変更
特別支援教育専攻	2	30	—	60		1.14	1.16	—	昭和57		
教育実践高度化専攻	※2	155	—	340	教職修士（専門 職）	0.60	0.57	—	平成20		平成31年度定員変 更、※一部3年在学 コースあり
大学院連合学校教育学研究科										兵庫県加東市下久米942-1	
学校教育実践学専攻	3	12	—	36	博士（学校教育 学）（学術）	1.00	1.00	—	平成31度		
先端課題実践開発専攻	3	6	—	18	博士（学校教育 学）	1.25	1.00	—	平成31度		
教科教育実践学専攻	3	18	—	54	博士（学校教育 学）（学術）	1.02	1.16	—	平成31度		

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科及び別科を除く）。

- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

- ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

- ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<連合学校教育学研究科学校教育実践学専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【令和元年度】			【令和2年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	木内 陽一 (63) ＜平成31年4月＞ Doktor der Philosophie	専	教授	木内 陽一 (64) ＜平成31年4月＞ Doktor der Philosophie			
		学校教育学特別研究			学校教育学特別研究			
専	教授	梅野 正信 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）	専	教授	梅野 正信 (63) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）			
					（研究指導）			
専	教授	尾上 雅信 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）	専	教授	尾上 雅信 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）	専	教授	尾上 雅信 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		学校教育史特別研究
専	准教授	梶井 一暁 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		学校教育史特別研究
専	准教授	大関 達也 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		学校教育学特別研究
専	准教授	平田 仁胤 (38) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		学校教育学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		学校教育史特別研究
専	教授	梶井 一暁 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		学校教育史特別研究
専	准教授	大関 達也 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		学校教育学特別研究
専	准教授	平田 仁胤 (39) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		学校教育学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		学校教育史特別研究
専	教授	梶井 一暁 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		学校教育史特別研究
専	教授	大関 達也 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		学校教育学特別研究
専	准教授	平田 仁胤 (40) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		学校教育学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中山 勸次郎 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）
		教授学習・発達特別研究
専	教授	皆川 直凡 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		教授学習・発達特別研究
専	教授	内藤 美加 (58) ＜平成31年4月＞ 文学博士
		教授学習・発達特別研究
		青木 多寿子

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中山 勸次郎 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）
		教授学習・発達特別研究
専	教授	皆川 直凡 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		教授学習・発達特別研究
専	教授	内藤 美加 (59) ＜平成31年4月＞ 文学博士
		教授学習・発達特別研究
		青木 多寿子

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中山 勸次郎 (63) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）
		課題研究Ⅰ～Ⅴ
専	教授	皆川 直凡 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		教授学習・発達特別研究
専	教授	内藤 美加 (60) ＜平成31年4月＞ 文学博士
		教授学習・発達特別研究
		青木 多寿子

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(57) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）
		学校教育の方法 教授学習・発達特別研究
専	教授	越 良子 (55) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）
		学級経営心理学特別研究
専	教授	寺澤 孝文 (54) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）
		教授学習・発達特別研究
		川上 綾子 (51)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(58) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）
		学校教育の方法 教授学習・発達特別研究
専	教授	越 良子 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）
		学級経営心理学特別研究
専	教授	寺澤 孝文 (55) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）
		教授学習・発達特別研究
		川上 綾子 (52)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(59) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）
		教授学習・発達特別研究
専	教授	越 良子 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）
		学級経営心理学特別研究
専	教授	寺澤 孝文 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）
		教授学習・発達特別研究
		川上 綾子 (53)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（教育心理学）
		教授学習・発達特別研究
専	教授	山田 剛史 (47) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		教授学習・発達特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（教育心理学）
		教授学習・発達特別研究
専	准教授	吉國 秀人 (49) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		教授学習・発達特別研究
専	教授	山田 剛史 (48) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		教授学習・発達特別研究
専	教授	三宅 幹子 (45) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（教育心理学）
		教授学習・発達特別研究
専	准教授	吉國 秀人 (50) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		教授学習・発達特別研究
専	教授	三宅 幹子 (46) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	内田 香奈子 (39) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		教授学習・発達特別研究
専	准教授	奥村 太一 (36) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（心理学）
		教授学習・発達特別研究
専	准教授	三沢 良 (41) ＜平成31年 4 月＞ 博士（心理学）
		学校教育経営学特別研究
専	准教授	内田 香奈子 (40) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		教授学習・発達特別研究
専	准教授	奥村 太一 (37) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（心理学）
		教授学習・発達特別研究
専	准教授	三沢 良 (42) ＜平成31年 4 月＞ 博士（心理学）
		学校教育経営学特別研究
専	准教授	内田 香奈子 (41) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		学校教育の方法教授学習・発達特別研究
専	准教授	奥村 太一 (38) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		教育実践基礎研究Ⅰ 教授学習・発達特別研究
専	教授	山崎 勝之 (63) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		教授学習・発達特別研究
専	教授	中間 玲子 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		教授学習・発達特別研究
専	准教授	角谷 詩織 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（人文科学）
		教授学習・発達特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		教育実践基礎研究Ⅰ 教授学習・発達特別研究
専	教授	山崎 勝之 (64) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		教授学習・発達特別研究
専	教授	中間 玲子 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		教授学習・発達特別研究
専	准教授	角谷 詩織 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（人文科学）
		教授学習・発達特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		教授学習・発達特別研究
専	特任教授	山崎 勝之 (65) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		教授学習・発達特別研究
専	教授	中間 玲子 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		教授学習・発達特別研究
専	准教授	角谷 詩織 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（人文科学）
		教授学習・発達特別研究

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高瀬 淳 (51) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		学校教育経営学特別研究
専	教授	安藤 知子 (50) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		学校教育経営学特別研究
		別惣 淳二

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐古 秀一 (65) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士
専	教授	高瀬 淳 (52) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		学校教育経営学特別研究
専	教授	安藤 知子 (51) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		学校教育経営学特別研究
		別惣 淳二

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐古 秀一 (66) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士
		課題研究Ⅰ～Ⅴ
専	教授	高瀬 淳 (53) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		学校教育経営学特別研究
専	教授	安藤 知子 (52) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		学校教育経営学特別研究
		別惣 淳二

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(49) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		学校教育の方法 学校教育経営学特別研究
専	教授	熊谷 慎之輔 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		学校教育経営学特別研究
専	准教授	川上 泰彦 (41) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		学校教育経営学特別研究
		金川 舞貴子 (40)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(50) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		学校教育の方法 学校教育経営学特別研究
専	教授	熊谷 慎之輔 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		学校教育経営学特別研究
専	准教授	川上 泰彦 (42) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		学校教育経営学特別研究
		金川 舞貴子 (41)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(51) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		学校教育の方法 学校教育経営学特別研究
専	教授	熊谷 慎之輔 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		学校教育経営学特別研究
専	教授	川上 泰彦 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		学校教育経営学特別研究
		金川 舞貴子 (42)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学） 学校教育経営学特別研究
専	准教授	大林 正史 (36) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学） 学校教育経営学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学） 学校教育経営学特別研究
専	准教授	大林 正史 (37) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学） 学校教育経営学特別研究
専	准教授	石村 雅雄 (59) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学） 学校教育経営学特別研究
専	准教授	大林 正史 (38) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学） 学校教育経営学特別研究
専	准教授	藤村 祐子 (37) ＜令和 2 年 4 月＞ 博士（教育学） 学校教育経営学特別研究
専	准教授	石村 雅雄 (60) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山口 健二 (53) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		学校教育社会学特別研究
専	教授	大前 敦巳 (52) ＜平成31年 4 月＞ 学術修士
		教育実践基礎研究Ⅱ 学校教育社会学特別研究
専	教授	高旗 浩志 (49) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		教育学修士
		学校教育社会学特別研究
専	教授	山口 健二 (54) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		学校教育社会学特別研究
専	教授	大前 敦巳 (53) ＜平成31年 4 月＞ 学術修士
		教育実践基礎研究Ⅱ 学校教育社会学特別研究
専	教授	高旗 浩志 (50) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		教育学修士
		学校教育社会学特別研究
専	教授	山口 健二 (55) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		学校教育社会学特別研究
専	教授	大前 敦巳 (54) ＜平成31年 4 月＞ 学術修士
		学校教育社会学特別研究
専	教授	高旗 浩志 (51) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		学校教育社会学特別研究
専	教授	釜田 聡 (59) ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）
		教育内容・方法特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		学校教育社会学特別研究
専	教授	釜田 聡 (60) ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）
		教育内容・方法特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		学校教育社会学特別研究
専	教授	太田 拓紀 (45) ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）
		学校教育社会学特別研究
専	准教授	長谷川 哲也 (39) ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）
		学校教育社会学特別研究
専	教授	釜田 聡 (61) ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）
		教育内容・方法特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	森廣 浩一郎 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）
		教育工学・教育情報学 特別研究
専	教授	井上 久祥 (50) ＜平成31年4月＞ 修士（工学）
		教育工学・教育情報学 特別研究
専	准教授	安藤 福光 (39) ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）
		教育内容・方法特別研 究
		小川 修史

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	森廣 浩一郎 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）
		教育工学・教育情報学 特別研究
専	教授	井上 久祥 (51) ＜平成31年4月＞ 修士（工学）
		教育工学・教育情報学 特別研究
専	准教授	安藤 福光 (40) ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）
		教育内容・方法特別研 究
		小川 修史

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	森廣 浩一郎 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）
		教育工学・教育情報学 特別研究
専	教授	井上 久祥 (52) ＜平成31年4月＞ 修士（工学）
		教育工学・教育情報学 特別研究
専	准教授	安藤 福光 (41) ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）
		教育内容・方法特別研 究
		小川 修史

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	(38) ＜平成31年 4 月＞ 博士（工学）
		教育学・教育情報学 特別研究
専	教授	益子 典文 (55) ＜平成31年 4 月＞ 博士（工学）
		教育学・教育情報学 特別研究
専	教授	大野 裕己 (44) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		学校教育経営学特別研 究
		渡部 雅之 (56)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	(39) ＜平成31年 4 月＞ 博士（工学）
		教育学・教育情報学 特別研究
専	教授	益子 典文 (56) ＜平成31年 4 月＞ 博士（工学）
		教育学・教育情報学 特別研究
専	教授	大野 裕己 (45) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		学校教育経営学特別研 究
		渡部 雅之 (57)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	(40) ＜平成31年 4 月＞ 博士（工学）
		教育学・教育情報学 特別研究
専	教授	益子 典文 (57) ＜平成31年 4 月＞ 博士（工学）
		教育学・教育情報学 特別研究
専	教授	大野 裕己 (46) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		学校教育経営学特別研 究
		渡部 雅之 (58)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（人間科学）
		教授学習・発達特別研究
専	教授	田中 淳一 (60) ＜平成31年 4 月＞ 医学博士
		障害児発達支援行動学 特別研究
専	教授	藤原 忠雄 (59) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（人間科学）
		教授学習・発達特別研究
専	准教授	奥村 好美 (34) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		教育内容・方法特別研究
専	教授	田中 淳一 (61) ＜平成31年 4 月＞ 医学博士
		障害児発達支援行動学 特別研究
専	教授	藤原 忠雄 (60) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（人間科学）
		教授学習・発達特別研究
専	准教授	奥村 好美 (35) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		教育内容・方法特別研究
専	教授	田中 淳一 (62) ＜平成31年 4 月＞ 医学博士
		障害児発達支援行動学 特別研究
専	教授	藤原 忠雄 (61) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（学校教育学）
		学校精神保健学特別研究
専	教授	秋光 恵子 (54) ＜平成31年 4 月＞ 修士（文学）
		学校教育相談特別研究
専	教授	栗飯原 良造 (63) ＜平成31年 4 月＞ 修士（臨床心理学）
		学校教育相談特別研究
専	教授	加藤 哲文 (62) ＜平成31年 4 月＞ 教育学博士

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（学校教育学）
		学校精神保健学特別研究
専	教授	秋光 恵子 (55) ＜平成31年 4 月＞ 修士（文学）
		学校教育相談特別研究
専	教授	栗飯原 良造 (64) ＜平成31年 4 月＞ 修士（臨床心理学）
		学校教育相談特別研究
専	教授	加藤 哲文 (63) ＜平成31年 4 月＞ 教育学博士

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（学校教育学）
		学校精神保健学特別研究
専	教授	秋光 恵子 (56) ＜平成31年 4 月＞ 修士（文学）
		学校教育相談特別研究
専	教授	
専	教授	加藤 哲文 (64) ＜平成31年 4 月＞ 教育学博士

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		学校教育相談特別研究
専	教授	野田 哲朗 (61) ＜平成31年 4 月＞ 博士（医学）
		学校精神保健学特別研究
専	教授	遊間 義一 (60) ＜平成31年 4 月＞ 博士（社会工学）
		学校教育相談特別研究
専	教授	五十嵐 透子 (59) ＜平成31年 4 月＞ Ph. D. in Psychology
		学校精神保健学特別研究
		小坂 浩嗣

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		学校教育相談特別研究
専	教授	野田 哲朗 (62) ＜平成31年 4 月＞ 博士（医学）
		学校精神保健学特別研究
専	教授	遊間 義一 (61) ＜平成31年 4 月＞ 博士（社会工学）
		学校教育相談特別研究
専	教授	五十嵐 透子 (60) ＜平成31年 4 月＞ Ph. D. in Psychology
		学校精神保健学特別研究
		小坂 浩嗣

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		学校教育相談特別研究
専	教授	野田 哲朗 (63) ＜平成31年 4 月＞ 博士（医学）
		学校精神保健学特別研究
専	教授	遊間 義一 (62) ＜平成31年 4 月＞ 博士（社会工学）
		学校教育相談特別研究
専	教授	五十嵐 透子 (61) ＜平成31年 4 月＞ Ph. D. in Psychology
		学校精神保健学特別研究
		小坂 浩嗣

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(58) ＜平成31年4月＞ 教育学修士
		学校教育相談特別研究
専	教授	市井 雅哉 (57) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		学校教育の臨床 学校教育相談特別研究
専	教授	岩井 圭司 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		学校精神保健学特別研究
		吉井 健治 (56)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(59) ＜平成31年4月＞ 教育学修士
		学校教育相談特別研究
専	教授	市井 雅哉 (58) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		学校教育の臨床 学校教育相談特別研究
専	教授	岩井 圭司 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		学校精神保健学特別研究
		吉井 健治 (57)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(60) ＜平成31年4月＞ 教育学修士
		学校教育相談特別研究
専	教授	市井 雅哉 (59) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		学校教育の臨床 学校教育相談特別研究
専	教授	岩井 圭司 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		学校精神保健学特別研究
		吉井 健治 (58)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（心理学）
		学校教育相談特別研究
専	教授	今田 雄三 (54) ＜平成31年 4 月＞ 博士（医学）
		学校精神保健学特別研究
専	教授	葛西 真記子 (53) ＜平成31年 4 月＞ Ph.D. in Psychology
		学校教育相談特別研究
専	教授	海野 千畝子 (53) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（心理学）
		学校教育相談特別研究
専	教授	今田 雄三 (55) ＜平成31年 4 月＞ 博士（医学）
		学校精神保健学特別研究
専	教授	葛西 真記子 (54) ＜平成31年 4 月＞ Ph.D. in Psychology
		学校教育相談特別研究
専	教授	海野 千畝子 (54) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（心理学）
		学校教育相談特別研究
専	教授	今田 雄三 (56) ＜平成31年 4 月＞ 博士（医学）
		学校精神保健学特別研究
専	教授	葛西 真記子 (55) ＜平成31年 4 月＞ Ph.D. in Psychology
		学校教育相談特別研究
専	教授	海野 千畝子 (55) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		修士（教育学）
		学校教育の臨床 学校教育相談特別研究
専	教授	宮下 敏恵 (49) ＜平成31年 4 月＞ 博士（人間科学）
		学校教育相談特別研究
専	教授	片山 美香 (49) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		学校教育相談特別研究
専	教授	遠藤 裕乃 (47) ＜平成31年 4 月＞ 博士（心理学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		修士（教育学）
		学校教育の臨床 学校教育相談特別研究
専	教授	宮下 敏恵 (50) ＜平成31年 4 月＞ 博士（人間科学）
		学校教育相談特別研究
専	教授	片山 美香 (50) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		学校教育相談特別研究
専	教授	遠藤 裕乃 (48) ＜平成31年 4 月＞ 博士（心理学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		修士（教育学）
		学校教育の臨床 学校教育相談特別研究
専	教授	宮下 敏恵 (51) ＜平成31年 4 月＞ 博士（人間科学）
		学校教育相談特別研究
専	教授	片山 美香 (51) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		学校教育相談特別研究
専	教授	遠藤 裕乃 (49) ＜平成31年 4 月＞ 博士（心理学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		学校教育相談特別研究
専	准教授	佐田久 真貴 (45) ＜平成31年4月＞ 教育学修士
		学校教育相談特別研究
専	准教授	中村 菜々子 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		学校教育相談特別研究
専	准教授	久米 禎子 (43) ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）
		学校教育相談特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		学校教育相談特別研究
専	准教授	佐田久 真貴 (46) ＜平成31年4月＞ 教育学修士
		学校教育相談特別研究
専	准教授	久米 禎子 (44) ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）
		学校教育相談特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		学校教育相談特別研究
専	准教授	佐田久 真貴 (47) ＜平成31年4月＞ 教育学修士
		学校教育相談特別研究
専	准教授	久米 禎子 (45) ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）
		学校教育相談特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小倉 正義 (38) ＜平成31年 4 月＞ 修士（臨床心理学）
		学校教育相談特別研究
専	講師	古川 洋和 (37) ＜平成31年 4 月＞ 博士（臨床心理学）
		教育実践基礎研究Ⅰ 学校精神保健学特別研究
		近藤 孝司

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小倉 正義 (39) ＜平成31年 4 月＞ 修士（臨床心理学）
		学校教育相談特別研究
専	講師	古川 洋和 (38) ＜平成31年 4 月＞ 博士（臨床心理学）
		教育実践基礎研究Ⅰ 学校精神保健学特別研究
		近藤 孝司

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	五十嵐 哲也 (44) ＜令和 2 年 4 月＞ 博士（教育学）
		学校教育相談特別研究
専	准教授	小倉 正義 (40) ＜平成31年 4 月＞ 修士（臨床心理学）
		学校教育相談特別研究
専	講師	古川 洋和 (39) ＜平成31年 4 月＞ 博士（臨床心理学）
		学校精神保健学特別研究
		近藤 孝司

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	(36) ＜平成31年 4 月＞ 博士（心理学）
		学校教育相談特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	(37) ＜平成31年 4 月＞ 博士（心理学）
		学校教育相談特別研究
		田村 典久 (34)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	(38) ＜平成31年 4 月＞ 博士（心理学）
		学校教育相談特別研究
専	准教授	伊藤 大輔 (37) ＜令和 2 年 4 月＞ 博士（人間科学）
		学校教育の臨床学校精神保健学特別研究
専	講師	永山 智之 (36) ＜令和 2 年 4 月＞ 博士（教育学）
		学校教育相談特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田中 圭介 (31) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学術） 教育実践基礎研究Ⅰ 学校教育相談特別研究
専	教授	河相 善雄 (62) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士 障害児発達支援教育学 特別研究
専	教授	河合 康 (57) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	＜平成31年 4 月＞ 博士（臨床心理学） 学校精神保健学特別研究
専	准教授	田中 圭介 (32) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学術） 教育実践基礎研究Ⅰ 学校教育相談特別研究
専	教授	河相 善雄 (63) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士 障害児発達支援教育学 特別研究
専	教授	河合 康 (58) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田中 圭介 (33) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学術） 学校教育相談特別研究
専	教授	河相 善雄 (64) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士 障害児発達支援教育学 特別研究
専	教授	河合 康 (59) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		教育学修士
		障害児発達支援教育学 特別研究
専	教授	大谷 博俊 (56) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		障害児発達支援教育学 特別研究
専	教授	大竹 喜久 (55) ＜平成31年 4 月＞ Doctor of Philosophy
		障害児発達支援教育学 特別研究
専	教授	高橋 眞琴 (56) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		教育学修士
		障害児発達支援教育学 特別研究
専	教授	大谷 博俊 (57) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		障害児発達支援教育学 特別研究
専	教授	大竹 喜久 (56) ＜平成31年 4 月＞ Doctor of Philosophy
		障害児発達支援教育学 特別研究
専	教授	高橋 眞琴 (57) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		教育学修士
		障害児発達支援教育学 特別研究
専	教授	大谷 博俊 (58) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		障害児発達支援教育学 特別研究
専	教授	大竹 喜久 (57) ＜平成31年 4 月＞ Doctor of Philosophy
		障害児発達支援教育学 特別研究
専	教授	高橋 眞琴 (58) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）

専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		障害児発達支援教育学 特別研究
専	教授	笠原 芳隆 (54) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		障害児発達支援教育学 特別研究
専	准教授	吉利 宗久 (44) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		障害児発達支援教育学 特別研究

専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		障害児発達支援教育学 特別研究
専	教授	藤井 和子 (56) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		障害児発達支援教育学 特別研究
専	教授	笠原 芳隆 (55) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		障害児発達支援教育学 特別研究
専	教授	吉利 宗久 (45) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		障害児発達支援教育学 特別研究

専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		障害児発達支援教育学 特別研究
専	教授	藤井 和子 (57) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		障害児発達支援教育学 特別研究
専	教授	笠原 芳隆 (56) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		障害児発達支援教育学 特別研究
専	教授	吉利 宗久 (46) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		障害児発達支援教育学 特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	石橋 由紀子 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		障害児発達支援教育学 特別研究
専	教授	鳥越 隆士 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）
		障害児発達支援心理学 特別研究
専	教授	大庭 重治 (60) ＜平成31年4月＞ 教育学博士
		課題研究Ⅰ～Ⅴ
		佐藤 暁

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	石橋 由紀子 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		障害児発達支援教育学 特別研究
専	教授	鳥越 隆士 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）
		障害児発達支援心理学 特別研究
専	教授	大庭 重治 (61) ＜平成31年4月＞ 教育学博士
		課題研究Ⅰ～Ⅴ
		佐藤 暁

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	石橋 由紀子 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		障害児発達支援教育学 特別研究
専	教授	鳥越 隆士 (63) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）
		障害児発達支援心理学 特別研究
専	教授	大庭 重治 (62) ＜平成31年4月＞ 教育学博士
		課題研究Ⅰ～Ⅴ
		佐藤 暁

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(58) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学） 障害児発達支援心理学 特別研究
専	教授	石倉 健二 (51) ＜平成31年 4 月＞ 博士（心理学） 障害児発達支援心理学 特別研究
専	准教授	村中 智彦 (47) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学） 障害児発達支援心理学 特別研究
		岡村 章司 (46)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(59) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学） 障害児発達支援心理学 特別研究
専	教授	石倉 健二 (52) ＜平成31年 4 月＞ 博士（心理学） 障害児発達支援心理学 特別研究
専	教授	村中 智彦 (48) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学） 障害児発達支援心理学 特別研究
		岡村 章司 (47)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(60) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学） 障害児発達支援心理学 特別研究
専	教授	石倉 健二 (53) ＜平成31年 4 月＞ 博士（心理学） 障害児発達支援心理学 特別研究
専	教授	村中 智彦 (49) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学） 障害児発達支援心理学 特別研究
		岡村 章司 (48)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		障害児発達支援心理学 特別研究
専	准教授	小林 優子 (42) ＜平成31年 4 月＞ 博士（心身障害学）
		障害児発達支援心理学 特別研究
専	准教授	池田 吉史 (33) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		障害児発達支援心理学 特別研究
専	教授	宇野 宏幸 (56) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		障害児発達支援心理学 特別研究
専	准教授	小林 優子 (43) ＜平成31年 4 月＞ 博士（心身障害学）
		障害児発達支援心理学 特別研究
専	准教授	池田 吉史 (34) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		障害児発達支援心理学 特別研究
専	教授	宇野 宏幸 (57) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		障害児発達支援心理学 特別研究
専	准教授	小林 優子 (44) ＜平成31年 4 月＞ 博士（心身障害学）
		障害児発達支援心理学 特別研究
専	准教授	池田 吉史 (35) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		障害児発達支援心理学 特別研究
専	教授	宇野 宏幸 (58) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（人間科学）
		障害児発達支援行動学 特別研究
専	教授	高野 美由紀 (55) ＜平成31年 4 月＞ 博士（医学）
		障害児発達支援行動学 特別研究
専	教授	大守 伊織 (51) ＜平成31年 4 月＞ 博士（医学）
		障害児発達支援行動学 特別研究
専	教授	伊藤 弘道 (44) ＜平成31年 4 月＞ 博士（医学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（人間科学）
		障害児発達支援行動学 特別研究
専	教授	高野 美由紀 (56) ＜平成31年 4 月＞ 博士（医学）
		障害児発達支援行動学 特別研究
専	教授	大守 伊織 (52) ＜平成31年 4 月＞ 博士（医学）
		障害児発達支援行動学 特別研究
専	教授	伊藤 弘道 (45) ＜平成31年 4 月＞ 博士（医学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（人間科学）
		障害児発達支援行動学 特別研究
専	教授	高野 美由紀 (57) ＜平成31年 4 月＞ 博士（医学）
		障害児発達支援行動学 特別研究
専	教授	大守 伊織 (53) ＜平成31年 4 月＞ 博士（医学）
		障害児発達支援行動学 特別研究
専	教授	伊藤 弘道 (46) ＜平成31年 4 月＞ 博士（医学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		障害児発達支援行動学 特別研究
専	教授	別府 哲 (57) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		障害児発達支援心理学 特別研究
専	助教	板倉 憲政 (34) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		学校教育相談特別研究
専	准教授	坂本 裕 (57) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		障害児発達支援教育学 特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		障害児発達支援行動学 特別研究
専	教授	別府 哲 (58) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		障害児発達支援心理学 特別研究
専	助教	板倉 憲政 (35) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		学校教育相談特別研究
専	准教授	坂本 裕 (58) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		障害児発達支援教育学 特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		障害児発達支援行動学 特別研究
専	教授	別府 哲 (59) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		障害児発達支援心理学 特別研究
専	助教	板倉 憲政 (36) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		学校教育相談特別研究
専	准教授	坂本 裕 (59) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		障害児発達支援教育学 特別研究

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・担当教員昇任のため、梶井一暁准教授、吉利宗久准教授、村中智彦准教授が教授に変更（「事前伺い」手続きのため教員資格審査（AC教員審査）不要）。
- ・中村葉々子准教授の退職により教員を見直し、「学校教育相談特別研究」は複数名で担当のため後任なし。
- ・教育効果向上のため「教授学習・発達特別研究」の担当に吉國秀人准教授、三宅幹子教授、「学校教育経営学特別研究」の担当に三沢良准教授、「課題研究」の担当に佐古秀一教授、原田 智に特任教授、「学校教育社会学特別研究」の担当に石村雅雄准教授、「教育内容・方法特別研究」の担当に奥村好美准教授、「学校精神保健学特別研究」の担当に田村典久講師、「障害児発達支援教育学特別研究」の担当に藤井和子教授（「事前伺い」手続きのため教員資格審査（AC教員審査）不要）を追加。

【令和2年度】

- ・担当教員昇任のため、大関達也准教授、川上泰彦准教授が教授に変更（「事前伺い」手続きのため教員資格審査（AC教員審査）不要）。
- ・山崎勝之教授が特任教授に変更（「事前伺い」手続きのため教員資格審査（AC教員審査）不要）。
- ・木内陽一教授の退職により教員を見直し、「学校教育学特別研究」は複数名で担当のため後任なし。
- ・梅野正信教授の退職により教員を見直し、「（研究指導）」のため後任なし。
- ・山田剛史教授の退職により教員を見直し、「教授学習・発達特別研究」は複数名で担当のため後任なし。
- ・栗飯原良造教授の退職により教員を見直し、「学校教育相談特別研究」は複数名で担当のため後任なし。
- ・田村典久講師の退職により教員を見直し、「学校精神保健学特別研究」は複数名で担当のため後任なし。
- ・教育効果向上のため、「学校教育経営学特別研究」の担当に藤村祐子准教授、「学校教育社会学特別研究」の担当に太田拓紀教授、長谷川哲也准教授、「学校教育相談特別研究」の担当に五十嵐哲也准教授、「学校教育の臨床、学校精神保健学特別研究」の担当に伊藤大輔准教授、「学校教育相談特別研究」の担当に永山智之講師（「事前伺い」手続きのため教員資格審査（AC教員審査）不要）を追加。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
9	6	6
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設 置 時 の 計 画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
60	22	2	1	85	0	66	25	2	0	93	0
(65)	(23)	(2)	(2)	(92)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
50	35	0				52	41	0			
(51)	(41)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
66	25	2	0	93	0	66	25	2	0	93	0
[6]	[3]	[0]	[△1]	[8]	[0]	[6]	[3]	[0]	[△1]	[8]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
52	41	0				52	41	0			
[2]	[6]	[0]				[2]	[6]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年 齢 構 成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) ー④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{93}{85} = \boxed{109.41} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) ー⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{1}{93} = \boxed{1.07} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) ー⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	准教授	中村 菜々子	H31.3	必修	課題研究Ⅰ～Ⅴ	①	H31.3 退職のため就任辞退（元）						
				選択	学校教育相談特別研究	①							
合計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	2	科目	計	2	科目	計	0	科目	計	0	科目

- （注）・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「（3）-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	梅野 正信	R2.3		（研究指導）	①	R2.3.31付け退職のため辞任（2）
2	教授	山田 剛史	R2.3	必修	課題研究Ⅰ～Ⅴ	①	R2.3.31付け退職のため辞任（2）
				選択	教授学習・発達特別研究	①	
3	講師	田村 典久	R2.3	必修	課題研究Ⅰ～Ⅴ	①	R2.3.31付け退職のため辞任（2）
				選択	学校精神保健学特別研究	①	
合計（F）						後任補充状況の集計（G）	

辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
3	人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	2 科目	選択	2 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	4 科目	計	4 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)		後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
4	人	必修	3 科目	必修	3 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	3 科目	選択	3 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	6 科目	計	6 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{4}{85} = \boxed{4.7} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	木内 陽一	必修	課題研究Ⅰ～Ⅴ	①	R2.3.31付け65歳で定年退職（2）				
			選択	学校教育学特別研究	①					
2	教授	栗飯原 良造	必修	課題研究Ⅰ～Ⅴ	①	R2.3.31付け65歳で定年退職（2）				
			選択	学校教育相談特別研究	①					
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
2	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	4	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」

辞任した専任教員の担当科目は他の専任教員が当該科目を担当するため、科目の未開講は生じず学生への影響はない。

「学生への周知方法」

履修手引きに係る冊子(便覧)等により周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
該当なし			

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<連合学校教育学研究科学校教育実践学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

(上越教育大学)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 ・ ファカルティ・ディベロップメント委員会 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） ・ 例年、3～5回開催している。令和元年度は年5回開催。 c 委員会の審議事項等 ・ FD活動の企画立案 ・ FD活動の評価 ・ FD活動に関する情報の収集と提供 ・ その他FDに関すること。 ② 実施状況 a 実施内容 ・ 学生への授業評価アンケートの実施及びそれに基づく教員による自己評価レポートの作成 ・ 教員相互の授業公開（参観） ・ アクティブ・ラーニングをテーマにしたFD研修会・講演会の開催 b 実施方法 ・ FD活動については、ファカルティ・ディベロップメント委員会が主管委員会として主導し、全学的に参加を呼び掛けている。 c 開催状況（教員の参加状況含む） ・ FD研修会 令和2年1月15日（水）に開催、令和元年度は、アクティブ・ラーニングの推進を目的とした、学生による学生への学修支援をテーマとした。参加者は、29名。 ・ FD講演会 令和2年3月16日（月）に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。 ・ 授業評価 前期は7月中旬～8月上旬、後期は1月下旬～2月上旬にWebシステムによるアンケートを実施 アンケート回収率は、前期28.4%、後期13.9%、年間21.2%（学部・大学院合算） ・ 授業公開 前期は6月、後期は11月に開催し、多数の教員から参観いただいた。 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ・ 授業評価アンケートの結果は、授業担当教員にフィードバックされるとともに、授業担当教員にはアンケート結果を基に授業の問題点の認識と授業改善を目指して、自己評価レポートを作成することを義務付けており、学生の意見聴取を基にした自己点検・評価並びに授業改善を実施している。 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 ・ 前期・後期の各最終授業のタイミングを中心に、それぞれ2週間ほど期間を設けて実施している。 b 教員や学生への公開状況、方法等 ・ 報告書として作成し、本学全学共有フォルダ（GoogleDrive）にて公開している。
--

① 実施体制

- a 委員会の設置状況
 - ・ 教育学部教育改善室
- b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ 令和元年１２月：２回開催、令和２年３月
- c 委員会の審議事項等
 - ・ 教育の質保証に係る基本方針及び方策に関すること。
 - ・ 卒業認定・学位授与方針の確認に関すること。
 - ・ 教育課程編成・実施の方針の確認に関すること。
 - ・ 学修成果の達成度の確認に関すること。
 - ・ 教育課程の点検・評価に関すること。
 - ・ 学生支援の点検・評価に関すること。
 - ・ 学生等からの意見聴取に関すること。
 - ・ 岐阜大学における教育の質保証に関する要項第５条に定める点検・評価に関すること
 - ・ 機関別認証評価等、教育評価への対応に関すること。
 - ・ 前各号を踏まえた教育の改善に関すること。
 - ・ その他教育の質保証に係る点検、評価及び改善に関すること。

② 実施状況

- a 実施内容
 - ア 学生への授業評価アンケートの実施
 - イ リフレクションペーパー
 - ウ 新任教員のための研修会（全学） 等
- b 実施方法
 - ア 学生の参画を得て実施
 - イ 教員が作成
 - ウ 講義形式
- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ 授業評価ＦＤ（年２回）
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・ 授業評価アンケート調査結果に対し各教員がリフレクションを実施した内容を、授業評価ＦＤにより紹介し、授業改善を促している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
 - ・ 前期・後期の各最終授業にて実施している。
- b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・ 評価結果を教員に配付している。

(滋賀大学)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

国立大学法人滋賀大学教育・学生支援機構 教育推進部門 別添規程のとおり

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

国立大学法人滋賀大学教育・学生支援機構 教育推進部門会議
全6回（臨時開催1回、持ち回り審議1回を含む）：委員7名

c 委員会の審議事項等

学士課程及び大学院課程における教育改革、ファカルティ・ディベロップメントの促進、教養教育及び

② 実施状況

a 実施内容

- ・教育の内部質保証に係る自己点検・評価・検証
- ・教育実践優秀賞の選考
- ・教育改革フォーラムの開催
- ・FDセミナーの開催
- ・学長裁量経費を活用した学部で実施する教育改革に係る取組みの総括
- ・FD事業報告書の編集・発行
- ・FD情報誌「su-L」の編集・発行
- ・アクティブ・ラーニングの促進
- ・科目ナンバリングの導入支援及びシラバスの改善
- ・成績評価に係るガイドラインの作成
- ・学修成果の可視化に向けた検討
- ・e-Learningシステム、LMSの運用管理
- ・関西FD連絡協議会参加大学が開催するFD講習会の学内周知、参加仲介等

b 実施方法

- ・教育・学生支援機構教育推進部門が企画を行い、学務課が各学部と連携し実施・運営を行う。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

（本学開催）

- ・令和元年度滋賀大学教育改革フォーラム
「認証評価と教育の内部質保証に関する研修会」
【開催：令和元年10月29日 参加者560名】
- ・令和元年度滋賀大学FDセミナー
「3つのポリシーと学修成果の可視化」
【開催：令和2年1月16日 参加者31名】
- ・FD公開授業「アクティブ・ラーニングの手法を学ぶ授業参観」
【開催：令和元年5月23日、6月20日 参加者延べ14名】
- ・教育学研究科高度教職実践専攻（教職大学院）「学校経営力開発コースFD学習会」
【開催：令和元年7月12日 参加者3名】
- ・教職大学院FD研修会（実務家教員・研究者教員の協働）
【開催：令和2年2月26日 参加者10名】

（他大学開催）

他大学が主催するAP事業に関するシンポジウム、研修会に教職員を派遣した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教育・学生支援機構教育推進部門で前述のとおり各種の取り組みを行い、フォーラムやセミナーの開催、FD事業報告書やFD情報誌「su-L」の発行を通じて学部が取組の成果をフィードバックした。また、学部の教員や関係者を学外のセミナー、研修会等に派遣し、他大学の先進的な取り組みについて情報収集させ、次年度以降の学部単位でのFD活動の準備を行った。これらの実施結果を踏まえ、授業においてアクティブ・ラーニングを取り入れた科目の充実、シラバスの改善、教養教育の充実等に関する取り組みを行った。また、教育の内部質保証に関する自己点検・評価・検証を実施した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・実施 有（毎年度毎学期）
- ・実施の時期 前期：7月中～下旬、後期：1月中～下旬

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・教員へは、集計及び分析結果を文書で返却し、受講傾向、成績等と併せ授業の改善・発展の手がかりとなるよう活用してもらっている。
- ・学生へは、滋賀大学学習管理システム（SULMS）にて、集計結果を掲載し、学生にフィードバックしている。

(兵庫教育大学)

① 実施体制

- a 委員会の設置状況
 - ・ ファカルティ・ディベロップメント推進委員会
- b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ 年5回程度
- c 委員会の審議事項等
 - ・ F Dに係る調査・研究に関すること。
 - ・ 教育の内容及び方法を改善するための支援に関すること。
 - ・ 教育改善に係る評価に関すること。
 - ・ その他F Dに関すること。

② 実施状況

- a 実施内容
 - ・ 学生への授業評価アンケートの実施
 - ・ 教員相互の授業参観
 - ・ アクティブ・ラーニングについての研究会を開催
 - ・ ベストクラスの選定
- b 実施方法
 - ・ 教員と事務職員が協働し、学生の参画を得て行っている。
- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ アクティブ・ラーニング研究会を実施している。
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・ 高評価の授業について、授業を公開することによって、授業改善のアイデアや手法等の情報を共有し、大学全体の授業改善を推進することを目的に、公開授業と授業研究会の2部制で実施している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
 - ・ 前期・後期の各最終授業にて実施している。
- b 教員や学生への公開状況，方法等
 - ・ 本学学内webページにて公開している。

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ F D委員会
- ・ 教務委員会
- ・ カリキュラム改善懇談会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 年8回程度（F D委員会）
- ・ 年13回程度（教務委員会）
- ・ 年1回程度（カリキュラム改善懇談会）

c 委員会の審議事項等

- ・ F Dに係る調査・研究に関する事。 （F D委員会）
- ・ 教育及び研究の内容及び方法を改善するための支援に関する事。 （F D委員会）
- ・ その他F Dに関する事。 （F D委員会）
- ・ 教育課程の編成及び授業計画に関する事。 （教務委員会）
- ・ 教務に関する規程等の原案作成に関する事。 （教務委員会）
- ・ 講義室等の使用計画及び教育設備の改善に関する事。 （教務委員会）
- ・ 休学、退学、科目等履修生の受入れ等、学生の学籍に関する事。 （教務委員会）
- ・ その他、教務に関し必要と認められる事。 （教務委員会）
- ・ 教育課程の編成及び充実に関する事。 （カリキュラム改善懇談会）
- ・ 授業及び効果的な教育環境の改善に関する事。 （カリキュラム改善懇談会）

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業評価アンケート結果の分析・検討（教務委員会）
- ・ 授業公開（F D委員会）
- ・ 教員養成カリキュラムの改善に関わる研修会（F D委員会）
- ・ 科研費申請に向けた研修会（F D委員会）
- ・ E S Dに関する取組についての説明会（F D委員会）
- ・ 国際バカロレアに関するF D研修会（F D委員会）
- ・ カリキュラム等に関する懇談会（カリキュラム改善懇談会）

b 実施方法

- ・ F D委員会及び教務委員会を中心とし、各講座等の協力のもと行っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 教員を対象に教員養成カリキュラムの改善に関わる研修会等を実施している。（F D委員会）
- ・ 教員・学生を対象にカリキュラム等に関する懇談会を実施している。（カリキュラム改善懇談会）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 授業公開後に情報交換会を開催することにより、授業改善のアイデアや手法等の情報を共有している。
- ・ カリキュラム等に関する懇談会開催後に教授会へ実施状況を報告することにより、学生からの意見・要望等の情報を共有している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 各学期の授業最終回までに実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 教養教育科目について、本学学内webページにて公開している。
なお、専門教育科目は、教員限定にて公開している。

① 実施体制

a 委員会の設置状況

学部・大学院ファカルティ・ディベロップメント委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和2年度は、年間3～4回の開催を予定している。

参加者は、副学長（3人）、各専攻長（3人）、各副専攻長（4人）、教務課長。

c 委員会の審議事項等

FD事業の運営に関すること。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業方法について研究会
- ・ 教員相互の授業参観

b 実施方法

- ・ 授業方法について研究会
授業研究会の実施。目的に沿った講演会を実施。全体で討議。

- ・ 教員相互の授業参観

各専攻ごとに決定した授業を公開。教員は、1科目以上を参観。参観した教員は、「授業観察記録」を作成し、授業担当教員に送付。授業担当教員は、「授業観察記録」により授業改善を実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 授業方法について研究会
授業研究会及び講演会を年間1回実施予定。
- ・ 教員相互の授業参観
年1回実施予定。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

講演会等を行うだけではなく、討論会を実施することで、教員間の意識統一ができ、授業改善に役立っている。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

計画通りに実施している。今後も引き続き設置の趣旨・目的の達成に向け教育研究活動に取り組む。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和2年7月末 公表予定

b 公表方法

・平成31事業年度年度計画に係る自己点検・評価書を、大学ホームページに公開予定（令和2年7月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・令和3年度に評価機構の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ ☒ 有 ・ ☐ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和2年7月末 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人兵庫教育大学

(2) 大 学 名

兵庫教育大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒673-1494
兵庫県加東市下久米942-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(カジサ テツヤ) 加治佐 哲也 (平成31年4月)		
研究科長	(ユウマ ヨシカズ) 遊間 義一 (平成31年4月)	(マツモト ツヨシ) 松本 剛 (令和2年4月)	任期満了のため 令和2年4月より変更 (2)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
- (例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称（学位）	学位又は学科の 分野	設 置 時 の 計 画				備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
連合学校教育学研究科 先端課題実践開発専攻 （博士課程） 博士（学校教育学）	教育学・保育学 関係	3年	6人	年次 人	18人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの平均 入学定員	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 6 (-) [-]	人 6 (-) [-]	人 6 (-) [-]	人 6 (-) [-]	人 () []	人 () []	1.25倍	—	
志願者数	12 (-) [-]	(-) [-]	6 (-) [-]	(-) [-]	() []	() []			
受験者数	11 (-) [-]	(-) [-]	6 (-) [-]	(-) [-]	() []	() []			
合格者数	9 (-) [-]	(-) [-]	6 (-) [-]	(-) [-]	() []	() []			
B 入学者数	9 (-) [-]	(-) [-]	6 (-) [-]	(-) [-]	() []	() []			
入学定員超過率 B/A	1.50		1.00						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 転入学生は記入しないでください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	9 [ー] (ー)	ー [ー] (ー)	6 [ー] (ー)	ー [ー] (ー)	[] [] ()	[] [] ()		
2 年次			9 [ー] (ー)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()		
3 年次					[] ()	[] ()		
4 年次								
計	9 [ー] (ー)		15 [ー] (ー)		[] ()			

・ 令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	9 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人	
令和2年度	6 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
合 計		0 人		人	人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
- (記入項目例) ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<連合学校教育学研究科先端課題実践開発専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合 共通 科目	教育実践基礎研究Ⅰ	1	2				1	2			
	教育実践基礎研究Ⅱ	1	2			2	1				
	小計(2科目)	-	4	0	0	1					
専門 科目	先端教育課題総合研究	1	2			2	2				
	現代教育課題特別研究	1		2		20	4				
	心の教育特別研究	1		2		3	2				
	教育発達課題特別研究Ⅰ	1		2		3	3				
	教育発達課題特別研究Ⅱ	1		2		3	1				
	学習臨床特別研究	1		2		6	1				
	小計(6科目)	-	2	10	0	33	10				
課題 研究	課題研究Ⅰ	1	2			33	10				
	課題研究Ⅱ	1	2			33	10				
	課題研究Ⅲ	2	2			33	10				
	課題研究Ⅳ	2	2			33	10				
	課題研究Ⅴ	3	2			33	10				
	小計(5科目)	-	10	0	0	33	10				
合計(13科目)		-	16	10	0	33	10				
卒業要件及び履修方法											
【修了要件】 本研究科に3年以上(特に優れた研究業績をあげた者と認めた場合は、2年で修了を可とする。)在学し、授業科目22単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び試験に合格すること。 なお、学位論文を提出するに当たっては、本研究科が実施する博士候補認定試験に合格していることが必要となっている。											
【履修方法】 【総合共通科目】 総合共通科目の「教育実践基礎研究Ⅰ」(2単位)、「教育実践基礎研究Ⅱ」(2単位)をそれぞれ必修科目として計4単位修得する。 【専門科目】 専門科目計4科目8単位以上を修得する。 所属する連合講座が開設する専門科目のうちから3科目6単位以上を選択する。 本専攻以外の専攻の連合講座が開設する授業科目のうちから1科目2単位以上を選択することができる。											
【課題研究】 課題研究5科目計10単位を修得する。											

【令和2年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合 共通 科目	教育実践基礎研究Ⅰ	1	2				3	0			
	教育実践基礎研究Ⅱ	1	2				2	2			
	小計(2科目)	-	4	0	0	5	2				
専門 科目	先端教育課題総合研究	1	2				4	2			
	現代教育課題特別研究	1		2			20	5			
	心の教育特別研究	1		2			4	1			
	教育発達課題特別研究Ⅰ	1		2			3	3			
	教育発達課題特別研究Ⅱ	1		2			3	2			
	学習臨床特別研究	1		2			7				
	小計(6科目)	-	2	10	0	35	11				
課題 研究	課題研究Ⅰ	1	2				35	11			
	課題研究Ⅱ	1	2				35	11			
	課題研究Ⅲ	2	2				35	11			
	課題研究Ⅳ	2	2				35	11			
	課題研究Ⅴ	3	2				35	11			
	小計(5科目)	-	10	0	0	35	11				
合計(13科目)		-	16	10	0	35	11				
卒業要件及び履修方法											
【修了要件】 本研究科に3年以上(特に優れた研究業績をあげた者と認めた場合は、2年で修了を可とする。)在学し、授業科目22単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び試験に合格すること。 なお、学位論文を提出するに当たっては、本研究科が実施する博士候補認定試験に合格していることが必要となっている。											
【履修方法】 【総合共通科目】 総合共通科目の「教育実践基礎研究Ⅰ」(2単位)、「教育実践基礎研究Ⅱ」(2単位)をそれぞれ必修科目として計4単位修得する。 【専門科目】 専門科目計4科目8単位以上を修得する。 所属する連合講座が開設する専門科目のうちから3科目6単位以上を選択する。 本専攻以外の専攻の連合講座が開設する授業科目のうちから1科目2単位以上を選択することができる。											
【課題研究】 課題研究5科目計10単位を修得する。											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合共通科目	教育実践基礎研究Ⅰ	1	2			1	1				
	教育実践基礎研究Ⅱ	1	2			4					
	小計(2科目)	-	4	0	0	5	1				
専門科目	先端教育課題総合研究	1	2			4	2				
	現代教育課題特別研究	1		2		20	4				
	心の教育特別研究	1		2		3	2				
	教育発達課題特別研究Ⅰ	1		2		3	3				
	教育発達課題特別研究Ⅱ	1		2		3	1				
	学習臨床特別研究	1		2		7					
	小計(6科目)	-	2	10	0	34	10				
課題研究	課題研究Ⅰ	1	2			34	10				
	課題研究Ⅱ	1	2			34	10				
	課題研究Ⅲ	2	2			34	10				
	課題研究Ⅳ	2	2			34	10				
	課題研究Ⅴ	3	2			34	10				
	小計(5科目)	-	10	0	0	34	10				
合計(13科目)		-	16	10	0	34	10				
卒業要件及び履修方法											
【修了要件】 本研究科に3年以上(特に優れた研究業績をあげた者と認めた場合は、2年で修了を可とする。)在学し、授業科目22単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び試験に合格すること。 なお、学位論文を提出するに当たっては、本研究科が実施する博士候補認定試験に合格していることが必要となっている。 【履修方法】 【総合共通科目】 総合共通科目の「教育実践基礎研究Ⅰ」(2単位)、「教育実践基礎研究Ⅱ」(2単位)をそれぞれ必修科目として計4単位修得する。 【専門科目】 専門科目計4科目8単位以上を修得する。 所属する連合講座が開設する専門科目のうちから3科目6単位以上を選択する。 本専攻以外の専攻の連合講座が開設する授業科目のうちから1科目2単位以上を選択することができる。 【課題研究】 課題研究5科目計10単位を修得する。											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・ 担当教員の見直しにより、「教育実践基礎研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授0」「講師2」から「教授1」「講師0」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「教育実践基礎研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」から「教授4」「准教授0」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「先端教育課題総合研究」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授4」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「教育発達課題特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授6」「准教授1」から「教授7」「准教授0」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「課題研究Ⅰ～Ⅴ」の専任教員等の配置を「教授33」から「教授34」に変更。

【令和2年度】

- ・ 担当教員の見直しにより、「教育実践基礎研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授3」「准教授0」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「教育実践基礎研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授2」「准教授2」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「現代教育課題特別研究」の専任教員等の配置を「教授20」「准教授4」から「教授20」「准教授5」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「心の教育特別研究」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授2」から「教授4」「准教授1」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「教育発達課題特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授1」から「教授3」「准教授2」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「課題研究Ⅰ～Ⅴ」の専任教員等の配置を「教授34」「准教授10」から「教授35」「准教授11」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
7 科目	6 科目	0 科目	13 科目	7 科目 []	6 科目 []	0 科目 []	13 科目 []	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
		該当なし				

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{115} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	122,706 m ²	0 m ²	0 m ²	122,706 m ²				
	運動場用地	84,936 m ²	0 m ²	0 m ²	84,936 m ²				
	小 計	207,642 m ²	0 m ²	0 m ²	207,642 m ²				
	そ の 他	150,705 m ²	0 m ²	0 m ²	150,705 m ²				
	合 計	358,347 m ²	0 m ²	0 m ²	358,347 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		25,016 m ² (25,016 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	25,016 m ² (25,016 m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		33 室	40 室	87 室	6 室 (補助職員 0 人)	2 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		連合学校教育学研究科			91 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	兵庫教育大学分 (大学全体) 左記の図書・設備は大学 全体の許容としても 利用する。	
	連合学校教育学 研究科	357,653 [83,709] (357,653 [83,709])	3,725 [1,248] (3,725 [1,248])	4,439 [3,870] (4,439 [3,870])	10,989 (10,989)	172 (172)	0 (0)		
	計	357,653 [83,709] (357,653 [83,709])	3,725 [1,248] (3,725 [1,248])	4,439 [3,870] (4,439 [3,870])	10,989 (10,989)	172 (172)	0 (0)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		兵庫教育大学分 (大学 全体)	
		3,446 m ²		205		300,833			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				兵庫教育大学分 (大学 全体)	
		1,113 m ²		ブルース一式、武道場一式、ダンスレッスン室、トレーニング室、 和弓場一式、洋弓場一式、野球場1面、ソフトボール場1面、 ハンドボール場1面、ラグビー・サッカー場1面、テニスコート 9面					
(8) 経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	経費の 見 積 り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	国立大学法人兵庫教育大学										備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
学校教育学部	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
	4	160	—	640	学士（学校教育 学）	1.05	1.04	—	昭和57	兵庫県加東市下久米942-1	
大学院学校教育研究科										兵庫県加東市下久米942-1	
人間発達教育専攻	2	115	—	230	修士（学校教育 学）	1.04	1.01	—	昭和55		平成31年度定員変更
特別支援教育専攻	2	30	—	60		1.14	1.16	—	昭和57		
教育実践高度化専攻	※2	155	—	340	教職修士（専門 職）	0.60	0.57	—	平成20		平成31年度定員変 更、※一部3年在学 コースあり
大学院連合学校教育学研究科										兵庫県加東市下久米942-1	
学校教育実践学専攻	3	12	—	36	博士（学校教育 学）（学術）	1.00	1.00	—	平成31度		
先端課題実践開発専攻	3	6	—	18	博士（学校教育 学）	1.25	1.00	—	平成31度		
教科教育実践学専攻	3	18	—	54	博士（学校教育 学）（学術）	1.02	1.16	—	平成31度		

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科及び別科を除く）。

- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

- ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

- ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

＜連合学校教育学研究科先端課題実践開発専攻＞

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	末内 佳代 (64) ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）
		現代教育課題特別研究
専	教授	松本 剛 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		現代教育課題特別研究
専	准教授	池田 誠喜 (56) ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山中 一英 (51) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育心理学）
		現代教育課題特別研究
専	准教授	藤原 伸彦 (49) ＜平成31年 4 月＞ 博士（人間科学）
		現代教育課題特別研究
専	教授	林 泰成 (59) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士 心の教育特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		先端教育課題総合研究 現代教育課題特別研究
専	教授	山中 一英 (52) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育心理学）
		現代教育課題特別研究
専	准教授	藤原 伸彦 (50) ＜平成31年 4 月＞ 博士（人間科学）
		現代教育課題特別研究
専	教授	林 泰成 (60) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士 心の教育特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		先端教育課題総合研究 現代教育課題特別研究
専	教授	山中 一英 (53) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育心理学）
		現代教育課題特別研究
専	准教授	藤原 伸彦 (51) ＜平成31年 4 月＞ 博士（人間科学）
		現代教育課題特別研究
専	教授	林 泰成 (61) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士 先端教育課題総合研究 心の教育特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	谷田 増幸 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		心の教育特別研究
専	教授	早川 裕隆 (57) ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）
		心の教育特別研究
専	准教授	淀澤 勝治 (55) ＜平成31年4月＞ 修士（学校教育学）
		心の教育特別研究
		横松 友義

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	谷田 増幸 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		心の教育特別研究
専	教授	早川 裕隆 (58) ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）
		心の教育特別研究
専	准教授	淀澤 勝治 (56) ＜平成31年4月＞ 修士（学校教育学）
		心の教育特別研究
		横松 友義

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	谷田 増幸 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		心の教育特別研究
専	教授	早川 裕隆 (59) ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）
		心の教育特別研究
専	准教授	淀澤 勝治 (57) ＜平成31年4月＞ 修士（学校教育学）
		心の教育特別研究
		横松 友義

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	(53) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		教育発達課題特別研究 I
専	准教授	鈴木 正敏 (53) ＜平成31年 4 月＞ Doctor of Philosophy
		教育発達課題特別研究 II
専	准教授	塩路 晶子 (45) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		教育発達課題特別研究 I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	(54) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		教育発達課題特別研究 I
専	准教授	鈴木 正敏 (54) ＜平成31年 4 月＞ Doctor of Philosophy
		教育発達課題特別研究 II
専	准教授	塩路 晶子 (46) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		教育発達課題特別研究 I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	(55) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		教育発達課題特別研究 I
専	准教授	鈴木 正敏 (55) ＜平成31年 4 月＞ Doctor of Philosophy
		教育発達課題特別研究 II
専	准教授	塩路 晶子 (47) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		教育発達課題特別研究 I
		飯野 祐樹 (37)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	浜崎 隆司 (62) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		教育発達課題特別研究 Ⅰ
	教授	田村 隆宏 (52) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		教育実践基礎研究Ⅱ 教育発達課題特別研究 Ⅰ
専	准教授	木村 直子 (39) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	浜崎 隆司 (63) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		教育発達課題特別研究 Ⅰ
	教授	田村 隆宏 (53) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		教育実践基礎研究Ⅱ 教育発達課題特別研究 Ⅰ
専	准教授	木村 直子 (40) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	＜令和 2 年 4 月＞ 博士（教育学）
		先端教育課題総合研究 教育発達課題特別研究 Ⅱ
専	教授	浜崎 隆司 (64) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		教育発達課題特別研究 Ⅰ
専	教授	田村 隆宏 (54) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		教育発達課題特別研究 Ⅰ
専	准教授	木村 直子 (41) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（学術）
		教育発達課題特別研究 I
専	教授	名須川 知子 (63) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学術）
		課題研究 I ～ V
専	教授	高橋 敏之 (59) ＜平成31年 4 月＞ 博士（芸術学）
		教育発達課題特別研究 I
専	教授	足立 正 (53) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（学術）
		教育発達課題特別研究 I
専	教授	名須川 知子 (64) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学術）
		課題研究 I ～ V
専	教授	高橋 敏之 (60) ＜平成31年 4 月＞ 博士（芸術学）
		教育発達課題特別研究 I
専	教授	足立 正 (54) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（学術）
		教育発達課題特別研究 I
専	教授	名須川 知子 (65) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学術）
		教育発達課題特別研究 II
専	教授	高橋 敏之 (61) ＜平成31年 4 月＞ 博士（芸術学）
		教育発達課題特別研究 I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		教育発達課題特別研究Ⅱ
専	教授	西山 修 (50)
		＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		先端教育課題総合研究 教育発達課題特別研究Ⅱ
専	教授	木村 吉彦 (63) ＜平成31年4月＞ 教育学修士
		現代教育課題特別研究 学習臨床特別研究
専	教授	米田 豊 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		現代教育課題特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		教育発達課題特別研究Ⅱ
専	教授	西山 修 (51)
		＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		先端教育課題総合研究 教育発達課題特別研究Ⅱ
専	教授	木村 吉彦 (64) ＜平成31年4月＞ 教育学修士
		現代教育課題特別研究 学習臨床特別研究
専	教授	米田 豊 (63) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		現代教育課題特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西山 修 (52)
		＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		教育発達課題特別研究Ⅱ
専	教授	
専	教授	米田 豊 (64) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		現代教育課題特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	溝邊 和成 (60) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学術）
		現代教育課題特別研究 学習臨床特別研究
専	教授	西川 純 (58) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		現代教育課題特別研究 学習臨床特別研究
		桐生 徹

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	溝邊 和成 (61) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学術）
		現代教育課題特別研究 学習臨床特別研究
専	教授	西川 純 (59) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		現代教育課題特別研究 学習臨床特別研究
		桐生 徹

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐伯 昭彦 (62) ＜令和 2 年 4 月＞
		博士（学校教育学）
		先端教育課題総合研究 学習臨床特別研究
専	教授	溝邊 和成 (62) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学術）
		現代教育課題特別研究 学習臨床特別研究
専	教授	西川 純 (60) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		現代教育課題特別研究 学習臨床特別研究
		桐生 徹

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(56) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		先端教育課題総合研究 学習臨床特別研究
専	准教授	筒井 茂喜 (56) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		現代教育課題特別研究
専	教授	高橋 知己 (56) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		現代教育課題特別研究
		水落 芳明 (53)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(57) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		先端教育課題総合研究 学習臨床特別研究
専	教授	筒井 茂喜 (57) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		現代教育課題特別研究
専	教授	高橋 知己 (57) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		現代教育課題特別研究
		水落 芳明 (54)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(58) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		学習臨床特別研究
専	教授	筒井 茂喜 (58) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		現代教育課題特別研究
専	教授	高橋 知己 (58) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		現代教育課題特別研究
		水落 芳明 (55)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		学習臨床特別研究
専	教授	岩崎 浩 (53) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		学習臨床特別研究
専	教授	藤井 浩樹 (50) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		現代教育課題特別研究
専	准教授	佐藤 多佳子 (50) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		学習臨床特別研究
専	教授	岩崎 浩 (54) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		学習臨床特別研究
専	教授	藤井 浩樹 (51) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		現代教育課題特別研究
専	教授	佐藤 多佳子 (51) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		学習臨床特別研究
専	教授	岩崎 浩 (55) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		学習臨床特別研究
専	教授	藤井 浩樹 (52) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		現代教育課題特別研究
専	教授	佐藤 多佳子 (52) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（学校教育学）
		学習臨床特別研究
専	教授	加藤 内蔵進 (61) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（学校教育学）
		学習臨床特別研究
専	教授	加藤 内蔵進 (62) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（学校教育学）
		学習臨床特別研究
専	教授	加納 圭 (40) ＜令和 2 年 4 月＞ 博士（生命科学） 現代教育課題特別研究
専	准教授	川崎 弘作 34 ＜令和 2 年 4 月＞ 博士（教育学） 先端教育課題総合研究 現代教育課題特別研究
専	教授	加藤 内蔵進 (63) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		現代教育課題特別研究
専	教授	石川 彰彦 (51) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学術）
		現代教育課題特別研究
専	教授	金児 正史 (61) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		現代教育課題特別研究
専	教授	前田 洋一 (60) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		現代教育課題特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		現代教育課題特別研究
専	教授	石川 彰彦 (52) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学術）
		現代教育課題特別研究
専	教授	金児 正史 (62) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		現代教育課題特別研究
専	教授	前田 洋一 (61) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		現代教育課題特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		現代教育課題特別研究
専	教授	石川 彰彦 (53) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学術）
		現代教育課題特別研究
専	教授	金児 正史 (63) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		現代教育課題特別研究
専	教授	前田 洋一 (62) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		現代教育課題特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	勝見 健史 (54) ＜平成31年4月＞ 修士（学校教育学） 先端教育課題総合研究 現代教育課題特別研究
		永田 智子 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学） 現代教育課題特別研究
専	教授	阪根 健二 (63) ＜平成31年4月＞ 教育学修士 現代教育課題特別研究
		久我 直人

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	勝見 健史 (55) ＜平成31年4月＞ 修士（学校教育学） 先端教育課題総合研究 現代教育課題特別研究
		永田 智子 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学） 現代教育課題特別研究
専	教授	阪根 健二 (64) ＜平成31年4月＞ 教育学修士 現代教育課題特別研究
		久我 直人

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	勝見 健史 (56) ＜平成31年4月＞ 修士（学校教育学） 現代教育課題特別研究
		永田 智子 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学） 現代教育課題特別研究
専	教授	阪根 健二 (65) ＜平成31年4月＞ 教育学修士 現代教育課題特別研究
		久我 直人

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(56) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		現代教育課題特別研究
専	教授	井澤 信三 (48) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		教育実践基礎研究Ⅰ 現代教育課題特別研究
専	准教授	吉澤 寛之 (47) ＜平成31年 4 月＞ 博士（心理学）
		先端教育課題総合研究 現代教育課題特別研究
		柳沼 良太 (48)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(57) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		現代教育課題特別研究
専	教授	井澤 信三 (49) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		教育実践基礎研究Ⅰ 現代教育課題特別研究
専	准教授	吉澤 寛之 (48) ＜平成31年 4 月＞ 博士（心理学）
		先端教育課題総合研究 現代教育課題特別研究
		柳沼 良太 (49)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(58) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		現代教育課題特別研究
専	教授	井澤 信三 (50) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		現代教育課題特別研究
専	准教授	吉澤 寛之 (49) ＜平成31年 4 月＞ 博士（心理学）
		現代教育課題特別研究
		柳沼 良太 (50)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		心の教育特別研究
専	教授	奥田 援史 (55) ＜平成31年 4 月＞ 博士（芸術学）
		先端教育課題総合研究 教育発達課題特別研究Ⅱ
専	教授	市川 智史 (57) ＜平成31年 4 月＞ 博士（総合社会文化）
		現代教育課題特別研究
専	教授	平澤 紀子 (56) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		心の教育特別研究
専	教授	奥田 援史 (56) ＜平成31年 4 月＞ 博士（芸術学）
		先端教育課題総合研究 教育発達課題特別研究Ⅱ
専	教授	市川 智史 (58) ＜平成31年 4 月＞ 博士（総合社会文化）
		現代教育課題特別研究
専	教授	平澤 紀子 (57) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		心の教育特別研究
専	教授	奥田 援史 (57) ＜平成31年 4 月＞ 博士（芸術学）
		先端教育課題総合研究 教育発達課題特別研究Ⅱ
専	教授	市川 智史 (59) ＜平成31年 4 月＞ 博士（総合社会文化）
		先端教育課題総合研究 現代教育課題特別研究
専	教授	平澤 紀子 (58) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（教育学）
		現代教育課題特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（教育学）
		現代教育課題特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（教育学）
		先端教育課題総合研究 現代教育課題特別研究

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・担当教員昇任のため、筒井茂喜准教授、佐藤多佳子准教授が教授に変更（「事前伺い」手続きのため教員資格審査（AC教員審査）不要）。
- ・教育効果向上のため、「先端教育課題総合研究、現代教育課題特別研究」の担当に池田誠喜准教授（「事前伺い」手続きのため教員資格審査（AC教員審査）不要）を追加。

【令和2年度】

- ・足立正教授の退職により教員を見直し、「教育発達課題特別研究Ⅱ」は複数名で担当のため後任なし。
- ・木村吉彦教授の退職により教員を見直し、「現代教育課題特別研究、学習臨床特別研究」は複数名で担当のため後任なし。
- ・教育効果向上のため、「先端教育課題総合研究、教育発達課題特別研究Ⅱ」の担当に飯野祐樹准教授、「先端教育課題総合研究、学習臨床特別研究」の担当に佐伯昭彦教授、「現代教育課題特別研究」の担当に加納圭教授、「先端教育課題総合研究、現代教育課題特別研究」の担当に川崎弘作准教授（「事前伺い」手続きのため教員資格審査（AC教員審査）不要）を追加。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
9	6	6
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設 置 時 の 計 画						現 在（報告時）の 状 況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
33	10	0	0	43	0	35	11	0	0	46	0
(34)	(10)	(0)	(0)	(44)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
22	21	0				23	23	0			
(23)	(21)	(0)									
現 在（報告時）の 完 成 年 度 時 の 状 況						現 在（報告時）の 完 成 年 度 時 の 計 画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
35	11	0	0	46	0	35	11	0	0	46	0
[2]	[1]	[0]	[0]	[3]	[0]	[2]	[1]	[0]	[0]	[3]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
23	23	0				23	23	0			
[1]	[2]	[0]									

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年 齢 構 成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) ー④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{46}{43} = \boxed{106.97} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) ー⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{46} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) ー⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
		該当なし											
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	講師	田村 典久	R2.3	必修	課題研究Ⅰ～Ⅴ	①	R2.3.31付け退職のため辞任（2）
				選択	学校精神保健学特別研究	①	
2	教授	足立 正	R2.3	必修	課題研究Ⅰ～Ⅴ	①	R2.3.31付け退職のため辞任（2）
				選択	教育発達課題特別研究Ⅱ	①	
合計（F）						後任補充状況の集計（G）	

辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
2人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	4	科目	計	4	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）＋（F）				後任補充状況の集計（E）＋（G）							
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
2	人	必修	2科目	必修	2科目	必修	0科目	必修	0科目		
		選択	2科目	選択	2科目	選択	0科目	選択	0科目		
		自由	0科目	自由	0科目	自由	0科目	自由	0科目		
		計	4科目	計	4科目	計	0科目	計	0科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{43} = 4.65 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	木村 吉彦	必修	課題研究Ⅰ～Ⅴ	①	R2.3.31付け65歳で定年退職（2）				
			選択	現代教育課題特別研究、学習臨床特別研究	①					
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	2	科目	計	2	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」

辞退した専任教員の担当科目は他の専任教員が当該科目を担当するため、科目の未開講は生じず学生への影響はない。

「学生への周知方法」

履修手引きに係る冊子（便覧）等により周知している。

- (注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
該当なし			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<連合学校教育学研究科学校教育実践学専攻>

<連合学校教育学研究科先端課題実践開発専攻>

<連合学校教育学研究科教科教育実践学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

（上越教育大学）

① 実施体制 - a 委員会の設置状況 ・ ファカルティ・ディベロップメント委員会 - b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） ・ 例年、3～5回開催している。令和元年度は年5回開催。 - c 委員会の審議事項等 ・ FD活動の企画立案 ・ FD活動の評価 ・ FD活動に関する情報の収集と提供 ・ その他FDに関すること。 ② 実施状況 - a 実施内容 ・ 学生への授業評価アンケートの実施及びそれに基づく教員による自己評価レポートの作成 ・ 教員相互の授業公開（参観） ・ アクティブ・ラーニングをテーマにしたFD研修会・講演会の開催 - b 実施方法 ・ FD活動については、ファカルティ・ディベロップメント委員会が主管委員会として主導し、全学的に参加を呼び掛けている。 - c 開催状況（教員の参加状況含む） ・ FD研修会 令和2年1月15日（水）に開催、令和元年度は、アクティブ・ラーニングの推進を目的とした、学生による学生への学修支援をテーマとした。参加者は、29名。 ・ FD講演会 令和2年3月16日（月）に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。 ・ 授業評価 前期は7月中旬～8月上旬、後期は1月下旬～2月上旬にWebシステムによるアンケートを実施 アンケート回収率は、前期28.4%、後期13.9%、年間21.2%（学部・大学院合算） ・ 授業公開 前期は6月、後期は11月に開催し、多数の教員から参観いただいた。 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ・ 授業評価アンケートの結果は、授業担当教員にフィードバックされるとともに、授業担当教員にはアンケート結果を基に授業の問題点の認識と授業改善を目指して、自己評価レポートを作成することを義務付けており、学生の意見聴取を基にした自己点検・評価並びに授業改善を実施している。 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 - a 実施の有無及び実施時期 ・ 前期・後期の各最終授業のタイミングを中心に、それぞれ2週間ほど期間を設けて実施している。 - b 教員や学生への公開状況、方法等 ・ 報告書として作成し、本学全学共有フォルダ（GoogleDrive）にて公開している。
--

① 実施体制

- a 委員会の設置状況
 - ・ 教育学部教育改善室
- b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ 令和元年１２月：２回開催、令和２年３月
- c 委員会の審議事項等
 - ・ 教育の質保証に係る基本方針及び方策に関すること。
 - ・ 卒業認定・学位授与方針の確認に関すること。
 - ・ 教育課程編成・実施の方針の確認に関すること。
 - ・ 学修成果の達成度の確認に関すること。
 - ・ 教育課程の点検・評価に関すること。
 - ・ 学生支援の点検・評価に関すること。
 - ・ 学生等からの意見聴取に関すること。
 - ・ 岐阜大学における教育の質保証に関する要項第５条に定める点検・評価に関すること
 - ・ 機関別認証評価等、教育評価への対応に関すること。
 - ・ 前各号を踏まえた教育の改善に関すること。
 - ・ その他教育の質保証に係る点検、評価及び改善に関すること。

② 実施状況

- a 実施内容
 - ア 学生への授業評価アンケートの実施
 - イ リフレクションペーパー
 - ウ 新任教員のための研修会（全学） 等
- b 実施方法
 - ア 学生の参画を得て実施
 - イ 教員が作成
 - ウ 講義形式
- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ 授業評価ＦＤ（年２回）
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・ 授業評価アンケート調査結果に対し各教員がリフレクションを実施した内容を、授業評価ＦＤにより紹介し、授業改善を促している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
 - ・ 前期・後期の各最終授業にて実施している。
- b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・ 評価結果を教員に配付している。

(滋賀大学)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

国立大学法人滋賀大学教育・学生支援機構 教育推進部門 別添規程のとおり

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

国立大学法人滋賀大学教育・学生支援機構 教育推進部門会議
全6回（臨時開催1回、持ち回り審議1回を含む）：委員7名

c 委員会の審議事項等

学士課程及び大学院課程における教育改革、ファカルティ・ディベロップメントの促進、教養教育及び

② 実施状況

a 実施内容

- ・教育の内部質保証に係る自己点検・評価・検証
- ・教育実践優秀賞の選考
- ・教育改革フォーラムの開催
- ・FDセミナーの開催
- ・学長裁量経費を活用した学部で実施する教育改革に係る取組みの総括
- ・FD事業報告書の編集・発行
- ・FD情報誌「su-L」の編集・発行
- ・アクティブ・ラーニングの促進
- ・科目ナンバリングの導入支援及びシラバスの改善
- ・成績評価に係るガイドラインの作成
- ・学修成果の可視化に向けた検討
- ・e-Learningシステム、LMSの運用管理
- ・関西FD連絡協議会参加大学が開催するFD講習会の学内周知、参加仲介等

b 実施方法

- ・教育・学生支援機構教育推進部門が企画を行い、学務課が各学部と連携し実施・運営を行う。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

（本学開催）

- ・令和元年度滋賀大学教育改革フォーラム
「認証評価と教育の内部質保証に関する研修会」
【開催：令和元年10月29日 参加者560名】
- ・令和元年度滋賀大学FDセミナー
「3つのポリシーと学修成果の可視化」
【開催：令和2年1月16日 参加者31名】
- ・FD公開授業「アクティブ・ラーニングの手法を学ぶ授業参観」
【開催：令和元年5月23日、6月20日 参加者延べ14名】
- ・教育学研究科高度教職実践専攻（教職大学院）「学校経営力開発コースFD学習会」
【開催：令和元年7月12日 参加者3名】
- ・教職大学院FD研修会（実務家教員・研究者教員の協働）
【開催：令和2年2月26日 参加者10名】

（他大学開催）

他大学が主催するAP事業に関するシンポジウム、研修会に教職員を派遣した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教育・学生支援機構教育推進部門で前述のとおり各種の取り組みを行い、フォーラムやセミナーの開催、FD事業報告書やFD情報誌「su-L」の発行を通じて学部が取組の成果をフィードバックした。また、学部の教員や関係者を学外のセミナー、研修会等に派遣し、他大学の先進的な取り組みについて情報収集させ、次年度以降の学部単位でのFD活動の準備を行った。これらの実施結果を踏まえ、授業においてアクティブ・ラーニングを取り入れた科目の充実、シラバスの改善、教養教育の充実等に関する取り組みを行った。また、教育の内部質保証に関する自己点検・評価・検証を実施した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・実施 有（毎年度毎学期）
- ・実施の時期 前期：7月中～下旬、後期：1月中～下旬

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・教員へは、集計及び分析結果を文書で返却し、受講傾向、成績等と併せ授業の改善・発展の手がかりとなるよう活用してもらっている。
- ・学生へは、滋賀大学学習管理システム（SULMS）にて、集計結果を掲載し、学生にフィードバックしている。

(兵庫教育大学)

① 実施体制

- a 委員会の設置状況
 - ・ ファカルティ・ディベロップメント推進委員会
- b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ 年5回程度
- c 委員会の審議事項等
 - ・ F Dに係る調査・研究に関すること。
 - ・ 教育の内容及び方法を改善するための支援に関すること。
 - ・ 教育改善に係る評価に関すること。
 - ・ その他F Dに関すること。

② 実施状況

- a 実施内容
 - ・ 学生への授業評価アンケートの実施
 - ・ 教員相互の授業参観
 - ・ アクティブ・ラーニングについての研究会を開催
 - ・ ベストクラスの選定
- b 実施方法
 - ・ 教員と事務職員が協働し、学生の参画を得て行っている。
- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ アクティブ・ラーニング研究会を実施している。
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・ 高評価の授業について、授業を公開することによって、授業改善のアイデアや手法等の情報を共有し、大学全体の授業改善を推進することを目的に、公開授業と授業研究会の2部制で実施している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
 - ・ 前期・後期の各最終授業にて実施している。
- b 教員や学生への公開状況，方法等
 - ・ 本学学内webページにて公開している。

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ F D委員会
- ・ 教務委員会
- ・ カリキュラム改善懇談会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 年8回程度（F D委員会）
- ・ 年13回程度（教務委員会）
- ・ 年1回程度（カリキュラム改善懇談会）

c 委員会の審議事項等

- ・ F Dに係る調査・研究に関すること。（F D委員会）
- ・ 教育及び研究の内容及び方法を改善するための支援に関すること。（F D委員会）
- ・ その他F Dに関すること。（F D委員会）
- ・ 教育課程の編成及び授業計画に関すること。（教務委員会）
- ・ 教務に関する規程等の原案作成に関すること。（教務委員会）
- ・ 講義室等の使用計画及び教育設備の改善に関すること。（教務委員会）
- ・ 休学、退学、科目等履修生の受入れ等、学生の学籍に関すること。（教務委員会）
- ・ その他、教務に関し必要と認められること。（教務委員会）
- ・ 教育課程の編成及び充実に関すること。（カリキュラム改善懇談会）
- ・ 授業及び効果的な教育環境の改善に関すること。（カリキュラム改善懇談会）

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業評価アンケート結果の分析・検討（教務委員会）
- ・ 授業公開（F D委員会）
- ・ 教員養成カリキュラムの改善に関わる研修会（F D委員会）
- ・ 科研費申請に向けた研修会（F D委員会）
- ・ E S Dに関する取組についての説明会（F D委員会）
- ・ 国際バカロレアに関するF D研修会（F D委員会）
- ・ カリキュラム等に関する懇談会（カリキュラム改善懇談会）

b 実施方法

- ・ F D委員会及び教務委員会を中心とし、各講座等の協力のもと行っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 教員を対象に教員養成カリキュラムの改善に関わる研修会等を実施している。（F D委員会）
- ・ 教員・学生を対象にカリキュラム等に関する懇談会を実施している。（カリキュラム改善懇談会）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 授業公開後に情報交換会を開催することにより、授業改善のアイデアや手法等の情報を共有している。
- ・ カリキュラム等に関する懇談会開催後に教授会へ実施状況を報告することにより、学生からの意見・要望等の情報を共有している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 各学期の授業最終回までに実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 教養教育科目について、本学学内webページにて公開している。
なお、専門教育科目は、教員限定にて公開している。

① 実施体制

a 委員会の設置状況

学部・大学院ファカルティ・ディベロップメント委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和2年度は、年間3～4回の開催を予定している。

参加者は、副学長（3人）、各専攻長（3人）、各副専攻長（4人）、教務課長。

c 委員会の審議事項等

FD事業の運営に関すること。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業方法について研究会
- ・ 教員相互の授業参観

b 実施方法

- ・ 授業方法について研究会
授業研究会の実施。目的に沿った講演会を実施。全体で討議。

- ・ 教員相互の授業参観

各専攻ごとで決定した授業を公開。教員は、1科目以上を参観。参観した教員は、「授業観察記録」を作成し、授業担当教員に送付。授業担当教員は、「授業観察記録」により授業改善を実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 授業方法について研究会
授業研究会及び講演会を年間1回実施予定。
- ・ 教員相互の授業参観
年1回実施予定。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

講演会等を行うだけではなく、討論会を実施することで、教員間の意識統一ができ、授業改善に役立っている。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

計画通りに実施している。今後も引き続き設置の趣旨・目的の達成に向け教育研究活動に取り組む。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和2年7月末 公表予定

b 公表方法

・平成31事業年度年度計画に係る自己点検・評価書を、大学ホームページに公開予定（令和2年7月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・令和3年度に評価機構の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ ☒ 有 ・ ☐ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和2年7月末 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人兵庫教育大学

(2) 大 学 名

兵庫教育大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒673-1494
兵庫県加東市下久米942-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(カジサ テツヤ) 加治佐 哲也 (平成31年4月)		
研究科長	(ユウマ ヨシカズ) 遊間 義一 (平成31年4月)	(マツモト ツヨシ) 松本 剛 (令和2年4月)	任期満了のため 令和2年4月より変更 (2)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称（学位）	学位又は学科の 分野	設 置 時 の 計 画				備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
連合学校教育学研究科 教科教育実践学専攻 （博士課程） 博士（学校教育学）	教育学・保育学 関係	3年	18人	年次 人	54人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定	備考		
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A	入学定員	人 18 (－) [－]	人 18 (－) [－]	人 18 (－) [－]	人 () []	人 () []			1.02倍	－		
	志願者数	22 (－) [1]	(－) [－]	32 (－) [4]	(－) [－]	() []	() []					
	受験者数	20 (－) [1]	(－) [－]	32 (－) [4]	(－) [－]	() []	() []					
	合格者数	17 (－) [1]	(－) [－]	21 (－) [1]	(－) [－]	() []	() []					
B	入学者数	16 (－) [－]	(－) [－]	21 (－) [1]	(－) [－]	() []	() []					
	入学定員超過率 B/A	0.88		1.16								

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 転入学生は記入しないでください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	16 [-] (-)	— [-] (-)	21 [1] (-)	— [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	
2 年次	/		16 [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
3 年次			/		[] ()	[] ()	
4 年次					/		
計			16 [-] (-)	37 [1] (-)	[] ()		

・ 令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	16 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人	
令和2年度	21 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
合 計		0 人		人	人	

・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)

・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{21} = \boxed{0} \%$$

103

2 授業科目の概要

＜連合学校教育学研究科教科教育実践学専攻＞

(1)－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合 共通 科目	教育実践基礎研究Ⅰ	1	2				1	2			
	教育実践基礎研究Ⅱ	1	2			2	1				
	小計(2科目)	－	4	0	0	1	1				
専門 科目	(言語系教育連合講座)										
	言語表現と言語認識の発達	1	2			2					
	国語教育基礎特別研究	1	2			5					
	国語教育課程特別研究	1	2			5	1				
	国語の表現と類型	1	2			5	1				
	国語文化の創造と受容	1	2			4	2				
	国語授業特別研究	1	2			2	1				
	国語教材特別研究	1	2			2					
	英語教育基礎特別研究	1	2			3					
	英語教育課程特別研究	1	2			4					
	英語表現・構造特別研究	1	2			6	1				
	英語文化・コミュニケーション特別研究	1	2			1	1				
	英語授業特別研究	1	2			4					
	英語教材特別研究	1	2			2					
	(社会系教育連合講座)										
	現代社会と社会認識形成	1	2			1					
	社会認識教育基礎特別研究	1	2			2	1				
	社会認識教育課程特別研究	1	2			2	1				
	人間の歴史と地域	1	2			7	2				
	地域と環境	1	2			4	1				
	社会制度と人間行動	1	2			5	3				
	人間と思想	1	2			1					
	社会認識授業特別研究	1	2			5	3				
	社会認識教材特別研究	1	2			5					
	生活科教育特別研究	1	2			2					
	(自然系教育連合講座)										
	新しいサイエンス・リテラシー	1	2			1					
	数学教育基礎特別研究	1	2				1				
	数学教育課程特別研究	1	2			1					
	数理構造論	1	2			3	4				
	数理基礎科学教育	1	2			1					
	数学の本質と数学教育	1	2			1	2				
	数学授業特別研究	1	2			2	2				
	数学教材特別研究	1	2			3	1				
	理科教育基礎特別研究	1	2			0					
	理科教育課程特別研究	1	2			2	1				
	エネルギー、環境と生命現象の科学	1	2			4	2				
	地球システム教育	1	2			6					
	物質の基礎と機能性物質	1	2			8	3				
	理科教育における実験観察	1	2			9					
	理科授業特別研究	1	2			2	1				
	理科教材特別研究	1	2								
	生活科教育特別研究	1	2			1					
	(芸術系教育連合講座)										
	人間の成長と芸術活動	1	2			2					
	音楽教育基礎特別研究	1	2								
	音楽教育課程特別研究	1	2			1					
	音楽表現と技法	1	2			9	2				
	音楽鑑賞と理論	1	2				1				
	音楽授業特別研究	1	2			2	1				
音楽教材特別研究	1	2			2	1					
美術教育基礎特別研究	1	2			2						
美術教育課程特別研究	1	2			2						
美術表現と技法	1	2			7	6					
美術鑑賞と理論	1	2			3						
美術授業特別研究	1	2			5	1					
美術教材特別研究	1	2			3	1					
(生活・健康系教育連合講座)											
生活環境の創造	1	2			2						
保健体育教育基礎特別研究	1	2			1						
保健体育教育課程特別研究	1	2			1						

【令和2年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
総合 共通 科目	教育実践基礎研究Ⅰ	1	2			3	0					
	教育実践基礎研究Ⅱ	1	2			2	2					
	小計(2科目)	—	4	0	0	5	2					
専門 科目	(言語系教育連合講座)											
	言語表現と言語認識の発達	1	2			2						
	国語教育基礎特別研究	1	2			5						
	国語教育課程特別研究	1	2			6	0					
	国語の表現と類型	1	2			5	2					
	国語文化の創造と受容	1	2			4	2					
	国語授業特別研究	1	2			4	0					
	国語教材特別研究	1	2			2						
	英語教育基礎特別研究	1	2			2						
	英語教育課程特別研究	1	2			4						
	英語表現・構造特別研究	1	2			5	1					
	英語文化・コミュニケーション特別研究	1	2			2	1					
	英語授業特別研究	1	2			3						
	英語教材特別研究	1	2			2	0					
	(社会系教育連合講座)											
	現代社会と社会認識形成	1	2			2						
	社会認識教育基礎特別研究	1	2			1	1		1			
	社会認識教育課程特別研究	1	2			4	2					
	人間の歴史と地域	1	2			8	3					
	地域と環境	1	2			4	2					
	社会制度と人間行動	1	2			4	2					
	人間と思想	1	2			1						
	社会認識授業特別研究	1	2			4	6		1			
	社会認識教材特別研究	1	2			6	1					
	生活科教育特別研究	1	2			2						
	(自然系教育連合講座)											
	新しいサイエンス・リテラシー	1	2			2	1					
	数学教育基礎特別研究	1	2				1					
	数学教育課程特別研究	1	2			1	1					
	数理構造論	1	2			4	3					
	数理基礎科学教育	1	2			1						
	数学の本質と数学教育	1	2			3	1					
	数学授業特別研究	1	2			3						
	数学教材特別研究	1	2			2						
	理科教育基礎特別研究(未開講)	1	2									
	理科教育課程特別研究	1	2			4	0					
	エネルギー、環境と生命現象の科学	1	2			5	2					
	地球システム教育	1	2			8						
	物質の基礎と機能性物質	1	2			10	2					
	理科教育における実験観察	1	2			9	1					
	理科授業特別研究	1	2			3	0					
	理科教材特別研究	1	2			2	1					
	生活科教育特別研究	1	2			2						
(芸術系教育連合講座)												
人間の成長と芸術活動	1	2			2							
音楽教育基礎特別研究(未開講)	1	2										
音楽教育課程特別研究	1	2			1							
音楽表現と技法	1	2			8	3						
音楽鑑賞と理論	1	2				1						
音楽授業特別研究	1	2			2	3						
音楽教材特別研究	1	2			2	3						
美術教育基礎特別研究(未開講)	1	2			0							
美術教育課程特別研究	1	2			1							
美術表現と技法	1	2			9	5		1				
美術鑑賞と理論	1	2			3							
美術授業特別研究	1	2			6							
美術教材特別研究	1	2			4							
(生活・健康系教育連合講座)												
生活環境の創造	1	2			2							
保健体育教育基礎特別研究	1	2			1							
保健体育教育課程特別研究	1	2			1							

	スポーツの科学	1		2		7	2					
	健康の科学	1		2		4	2					
	保健体育授業特別研究	1		2		2						
	保健体育教材特別研究	1		2		2	1					
	技術教育基礎特別研究	1		2		4						
	技術教育課程特別研究	1		2		1						
	生活の工学	1		2		4	1					
	生産と情報	1		2		2	2					
	技術授業特別研究	1		2		4						
	技術教材特別研究	1		2		4	1					
	家庭科教育基礎特別研究	1		2		1						
	家庭科教育課程特別研究	1		2								
	生活の科学	1		2		6						
	生活環境と生活文化	1		2		4						
	家庭科授業特別研究	1		2		1						
	家庭科教材特別研究	1		2		1						
	小計(72科目)	-	0	142	0	141	46					
課題研究	課題研究Ⅰ	1	2			141	46					
	課題研究Ⅱ	1	2			141	46					
	課題研究Ⅲ	2	2			141	46					
	課題研究Ⅳ	2	2			141	46					
	課題研究Ⅴ	3	2			141	46					
	小計(5科目)	-	10	0	0	141	46					
合計(79科目)		-	14	142	0	141	46					
卒業要件及び履修方法												
【修了要件】 本研究科に3年以上(特に優れた研究業績をあげた者と認めた場合は、2年で修了を可とする。)在学し、授業科目22単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び試験に合格すること。 なお、学位論文を提出するに当たっては、本研究科が実施する博士候補認定試験に合格していることが必要となっている。												
【履修方法】 〔総合共通科目〕 総合共通科目の「教育実践基礎研究Ⅰ」(2単位)、「教育実践基礎研究Ⅱ」(2単位)をそれぞれ必修科目として計4単位修得する。 〔専門科目〕 専門科目計4科目8単位以上を修得する。 所属する連合講座が開設する専門科目のうちから3科目6単位以上を選択する。 本専攻以外の専攻の連合講座が開設する授業科目のうちから1科目2単位以上を選択することができる。 〔課題研究〕 課題研究5科目計10単位を修得する。												

	スポーツの科学	1		2		9	3	1				
	健康の科学	1		2		5	2					
	保健体育授業特別研究	1		2		2						
	保健体育教材特別研究	1		2		2	1					
	技術教育基礎特別研究	1		2		5						
	技術・情報教育基礎特別研究	1		2		5						
	技術教育課程特別研究	1		2		1						
	技術・情報教育課程特別研究	1		2		1						
	生活の工学	1		2		3	2					
	技術教育内容特別研究	1		2		3	2					
	生産と情報	1		2		2	2					
	情報教育内容特別研究	1		2		2	2					
	技術授業特別研究	1		2		5						
	技術・情報授業特別研究	1		2		5						
	技術教材特別研究	1		2		6	1					
	技術・情報教材特別研究	1		2		6	1					
	家庭科教育基礎特別研究	1		2		1						
	家庭科教育課程特別研究(未開講)	1		2								
	生活の科学	1		2		7						
	生活環境と生活文化	1		2		3						
	家庭科内容特別研究	1		2		10						
	家庭科授業特別研究	1		2		1						
	家庭科教材特別研究	1		2		1						
	小計(79科目)	-	0	158	0	155	52	1	2			
課題研究	課題研究Ⅰ	1	2			155	52	1	2			
	課題研究Ⅱ	1	2			155	52	1	2			
	課題研究Ⅲ	2	2			155	52	1	2			
	課題研究Ⅳ	2	2			155	52	1	2			
	課題研究Ⅴ	3	2			155	52	1	2			
	小計(5科目)	-	10	0	0	155	52	1	2			
合計(86科目)		-	14	158	0	155	52	1	2			
卒業要件及び履修方法												
【修了要件】 本研究科に3年以上(特に優れた研究業績をあげた者と認めた場合は、2年で修了を可とする。)在学し、授業科目22単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び試験に合格すること。 なお、学位論文を提出するに当たっては、本研究科が実施する博士候補認定試験に合格していることが必要となっている。												
【履修方法】 〔総合共通科目〕 総合共通科目の「教育実践基礎研究Ⅰ」(2単位)、「教育実践基礎研究Ⅱ」(2単位)をそれぞれ必修科目として計4単位修得する。 〔専門科目〕 専門科目計4科目8単位以上を修得する。 所属する連合講座が開設する専門科目のうちから3科目6単位以上を選択する。 本専攻以外の専攻の連合講座が開設する授業科目のうちから1科目2単位以上を選択することができる。 〔課題研究〕 課題研究5科目計10単位を修得する。												

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
総合共通科目	教育実践基礎研究Ⅰ	1	2			1	1			
	教育実践基礎研究Ⅱ	1	2			4				
	小計(2科目)	-	4	0	0	5	1			
	(言語系教育連合講座)									
	言語表現と言語認識の発達	1	2			2				
	国語教育基礎特別研究	1	2			5				
	国語教育課程特別研究	1	2			5	1			
	国語の表現と類型	1	2			5	2			
	国語文化の創造と受容	1	2			4	2			
	国語授業特別研究	1	2			2	2			
	国語教材特別研究	1	2			2				
	英語教育基礎特別研究	1	2			2				
	英語教育課程特別研究	1	2			4				
	英語表現・構造特別研究	1	2			6	1			
	英語文化・コミュニケーション特別研究	1	2			2	1			
	英語授業特別研究	1	2			3				
	英語教材特別研究	1	2			1	1			
	(社会系教育連合講座)									
	現代社会と社会認識形成	1	2			2				
	社会認識教育基礎特別研究	1	2				1			

専門科目	社会認識教育課程特別研究	1		2		2	2				
	人間の歴史と地域	1		2		7	4				
	地域と環境	1		2		4	2				
	社会制度と人間行動	1		2		6	2				
	人間と思想	1		2		1					
	社会認識授業特別研究	1		2		5	5				
	社会認識教材特別研究	1		2		5					
	生活科教育特別研究	1		2		3					
	(自然系教育連合講座)										
	新しいサイエンス・リテラシー	1		2		2	1				
	数学教育基礎特別研究	1		2		1					
	数学教育課程特別研究	1		2		1	1				
	数理構造論	1		2		4	3				
	数理基礎科学教育	1		2		2					
	数学の本質と数学教育	1		2		2	2				
	数学授業特別研究	1		2		3					
	数学教材特別研究	1		2		3					
	理科教育基礎特別研究(未開講)	1		2							
	理科教育課程特別研究	1		2		3	1				
	エネルギー、環境と生命現象の科学	1		2		6	1				
	地球システム教育	1		2		8					
	物質の基礎と機能性物質	1		2		10	2				
	理科教育における実験観察	1		2		9	1				
	理科授業特別研究	1		2		2	1				
	理科教材特別研究	1		2		2	1				
	生活科教育特別研究	1		2		3					
	(芸術系教育連合講座)										
	人間の成長と芸術活動	1		2		2					
	音楽教育基礎特別研究(未開講)	1		2							
	音楽教育課程特別研究	1		2		1					
	音楽表現と技法	1		2		10	2				
	音楽鑑賞と理論	1		2			1				
	音楽授業特別研究	1		2		2	2				
	音楽教材特別研究	1		2		2	2				
	美術教育基礎特別研究	1		2		1					
	美術教育課程特別研究	1		2		2					
	美術表現と技法	1		2		7	6				
	美術鑑賞と理論	1		2		3					
	美術授業特別研究	1		2		6					
	美術教材特別研究	1		2		4					
	(生活・健康系教育連合講座)										
	生活環境の創造	1		2		2					
	保健体育教育基礎特別研究	1		2		1					
	保健体育教育課程特別研究	1		2		1					
	スポーツの科学	1		2		7	2				
	健康の科学	1		2		5	1				
	保健体育授業特別研究	1		2		2					
	保健体育教材特別研究	1		2		2	1				
	技術教育基礎特別研究	1		2		5					
	技術・情報教育基礎特別研究	1		2		5					
	技術教育課程特別研究	1		2		1					
	技術・情報教育課程特別研究	1		2		1					
	生活の工学	1		2		4	1				
	技術教育内容特別研究	1		2		4	1				
	生産と情報	1		2		2	2				
	情報教育内容特別研究	1		2		2	2				
	技術授業特別研究	1		2		5					
	技術・情報授業特別研究	1		2		5					
	技術教材特別研究	1		2		6	1				
	技術・情報教材特別研究	1		2		6	1				
	家庭科教育基礎特別研究	1		2		1					
	家庭科教育課程特別研究(未開講)	1		2							
	生活の科学	1		2		7					
	生活環境と生活文化	1		2		3					
	家庭科授業特別研究	1		2		1					
	家庭科教材特別研究	1		2		1					
	小計(78科目)	-	0	156	0	157	51				
課題	課題研究Ⅰ	1	2			157	51				
	課題研究Ⅱ	1	2			157	51				
	課題研究Ⅲ	2	2			157	51				

研究	課題研究Ⅳ	2	2			157	51						
	課題研究Ⅴ	3	2			157	51						
	小計(5科目)	-	10	0	0	157	51						
	合計(85科目)	-	14	156	0	157	51						
卒業要件及び履修方法													
【修了要件】 本研究科に3年以上(特に優れた研究業績をあげた者と認めた場合は、2年で修了を可とする。)在学し、授業科目22単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び試験に合格すること。 なお、学位論文を提出するに当たっては、本研究科が実施する博士候補認定試験に合格していることが必要となっている。													
【履修方法】 【総合共通科目】 総合共通科目の「教育実践基礎研究Ⅰ」(2単位)、「教育実践基礎研究Ⅱ」(2単位)をそれぞれ必修科目として計4単位修得する。													
【専門科目】 専門科目計4科目8単位以上を修得する。 所属する連合講座が開設する専門科目のうちから3科目6単位以上を選択する。 本専攻以外の専攻の連合講座が開設する授業科目のうちから1科目2単位以上を選択することができる。													
【課題研究】 課題研究5科目計10単位を修得する。													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ①授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・ 担当教員の見直しにより、「教育実践基礎研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授0」「講師2」から「教授1」「講師0」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「教育実践基礎研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」から「教授4」「准教授0」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「国語の表現と類型」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「国語授業特別研究」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「英語教育基礎特別研究」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「英語文化・コミュニケーション特別研究」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「英語授業特別研究」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「英語教材特別研究」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授0」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「現在社会と社会認識形成」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「社会認識教育基礎特別研究」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授0」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「社会認識教育課程特別研究」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「人間の歴史と地域」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授4」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「地球と環境」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「社会制度と人間行動」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授3」から「教授6」「准教授2」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「社会認識授業特別研究」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授5」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「生活科教育特別研究」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「新しいサイエンス・リテラシー」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授0」から「教授2」「准教授1」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「数学教育課程特別研究」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「数理構造論」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授4」から「教授4」「准教授3」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「物理基礎科学教育」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「数学の本質と数学教育」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「数学授業特別研究」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授2」から「教授3」「准教授0」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「数学教材特別研究」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「理科教育課程特別研究」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「理科・環境と生命現象の科学」の専任教員等の配置を「教授4」「准教授2」から「教授6」「准教授1」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「地球システム教育」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授8」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「物質の基礎と機能性物質」の専任教員等の配置を「教授8」「准教授3」から「教授10」「准教授2」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「理科教育における実験観察」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「理科教材特別研究」の専任教員等の配置を「教授0」「准教授0」から「教授2」「准教授1」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「生活科教育特別研究」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授3」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「音楽表現と技法」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授10」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「音楽授業特別研究」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「音楽教材特別研究」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「美術教育基礎特別研究」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「美術授業特別研究」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授1」から「教授6」「准教授0」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「美術教材特別研究」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授1」から「教授4」「准教授0」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「健康の科学」の専任教員等の配置を「教授4」「准教授2」から「教授5」「准教授1」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「技術教育基礎特別研究」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「技術授業特別研究」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「技術教材特別研究」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授6」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「技術授業特別研究」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「生活の科学」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授7」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「生活環境と生活文化」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「課題研究Ⅰ～Ⅴ」の専任教員等の配置を「教授14」「准教授46」から「教授157」「准教授51」に変更。

【令和2年度】

・担当教員の見直しにより、	「教育実践基礎研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授3」「准教授0」に変更。
・担当教員の見直しにより、	「教育実践基礎研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授2」「准教授2」に変更。
・担当教員の見直しにより、	「国語教育課程特別研究」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授1」から「教授6」に変更。
・担当教員の見直しにより、	「国語授業特別研究」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授2」から「教授4」に変更。
・担当教員の見直しにより、	「英語表現・構造特別研究」の専任教員等の配置を「教授6」「准教授1」から「教授5」「准教授1」に変更。
・担当教員の見直しにより、	「英語教材特別研究」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授2」に変更。
・担当教員の見直しにより、	「社会認識教育基礎特別研究」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」「准教授1」「助教1」に変更。
・担当教員の見直しにより、	「社会認識教育課程特別研究」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授2」から「教授4」「准教授2」に変更。
・担当教員の見直しにより、	「人間の歴史と地域」の専任教員等の配置を「教授7」「准教授4」から「教授8」「准教授3」に変更。
・担当教員の見直しにより、	「人間制度と人間行動」の専任教員等の配置を「教授6」「准教授2」から「教授4」「准教授2」に変更。
・担当教員の見直しにより、	「社会認識授業特別研究」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授5」から「教授4」「准教授6」「助教1」に変更。
・担当教員の見直しにより、	「社会認識教材特別研究」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」「准教授1」に変更。
・担当教員の見直しにより、	「生活科教育特別研究」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
・担当教員の見直しにより、	「物理基礎科学教育」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
・担当教員の見直しにより、	「数学の本質と数学教育」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授2」から「教授3」「准教授1」に変更。
・担当教員の見直しにより、	「数学教材特別研究」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
・担当教員の見直しにより、	「理科教育課程特別研究」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授1」から「教授4」に変更。
・担当教員の見直しにより、	「英語・環境と生命現象の科学」の専任教員等の配置を「教授6」「准教授1」から「教授5」「准教授2」に変更。
・担当教員の見直しにより、	「理科授業特別研究」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」から「教授3」に変更。
・担当教員の見直しにより、	「生活科教育特別研究」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
・担当教員の見直しにより、	「音楽表現と技法」の専任教員等の配置を「教授10」「准教授2」から「教授8」「准教授3」に変更。
・担当教員の見直しにより、	「音楽授業特別研究」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授2」から「教授2」「准教授3」に変更。
・担当教員の見直しにより、	「音楽教材特別研究」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授2」から「教授2」「准教授3」に変更。
・担当教員の見直しにより、	「美術教育基礎特別研究」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
・担当教員の見直しにより、	「美術教育課程特別研究」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
・担当教員の見直しにより、	「美術表現と技法」の専任教員等の配置を「教授7」「准教授6」から「教授9」「准教授5」「助教1」に変更。
・担当教員の見直しにより、	「スポーツの科学」の専任教員等の配置を「教授7」「准教授2」から「教授9」「准教授3」「講師1」に変更。
・担当教員の見直しにより、	「健康の科学」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授1」から「教授5」「准教授2」に変更。
・担当教員の見直しにより、	「生活の工学」の専任教員等の配置を「教授4」「准教授1」から「教授3」「准教授2」に変更。
・開講科目の見直しにより、	「家庭科内容特別研究」を新規に追加。
・担当教員の見直しにより、	「課題研究Ⅰ～Ⅴ」の専任教員等の配置を「教授157」「准教授51」から「教授155」「准教授52」「講師1」「助教2」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
7 科目	72 科目	0 科目	79 科目	7 科目	79 科目	0 科目	86 科目	
				[]	[7]	[]	[7]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	理科教育基礎特別	2	1	専門	選択	担当教員不在のため
2	音楽教育基礎特別研究	2	1	専門	選択	担当教員不在のため
3	美術教育基礎特別研究	2	1	専門	選択	担当教員不在のため
4	家庭科教育課程特別研究	2	1	専門	選択	担当教員不在のため

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学の所見：
 専門科目については十分な数の授業科目があり、教育の質は確保されている。

学生への周知方法：
 ・ 入学時オリエンテーションにおいて説明
 ・ 履修手引き（便覧）に記載

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{4}{115} = \boxed{3.47} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	122,706 m ²	0 m ²	0 m ²	122,706 m ²				
	運動場用地	84,936 m ²	0 m ²	0 m ²	84,936 m ²				
	小 計	207,642 m ²	0 m ²	0 m ²	207,642 m ²				
	そ の 他	150,705 m ²	0 m ²	0 m ²	150,705 m ²				
	合 計	358,347 m ²	0 m ²	0 m ²	358,347 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		25,016 m ² (25,016 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	25,016 m ² (25,016 m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		33 室	40 室	87 室	6 室 (補助職員 0 人)	2 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		連合学校教育学研究科			91 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	兵庫教育大学分 (大学全体) 左記の図書・設備は大学 全体の許容としても 利用する。	
	連合学校教育学 研究科	357,653 [83,709] (357,653 [83,709])	3,725 [1,248] (3,725 [1,248])	4,439 [3,870] (4,439 [3,870])	10,989 (10,989)	172 (172)	0 (0)		
	計	357,653 [83,709] (357,653 [83,709])	3,725 [1,248] (3,725 [1,248])	4,439 [3,870] (4,439 [3,870])	10,989 (10,989)	172 (172)	0 (0)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		兵庫教育大学分 (大学 全体)	
		3,446 m ²		205		300,833			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				兵庫教育大学分 (大学 全体)	
		1,113 m ²		ブルース式、武道場一式、ダンスレッスン室、トレーニング室、 和弓場一式、洋弓場一式、野球場1面、ソフトボール場1面、 ハンドボール場1面、ラグビー・サッカー場1面、テニスコート 9面					
(8) 経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	経費の 見 積 り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	国立大学法人兵庫教育大学										備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
学校教育学部	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
	4	160	—	640	学士（学校教育 学）	1.05	1.04	—	昭和57	兵庫県加東市下久米942-1	
大学院学校教育研究科										兵庫県加東市下久米942-1	
人間発達教育専攻	2	115	—	230	修士（学校教育 学）	1.04	1.01	—	昭和55		平成31年度定員変更
特別支援教育専攻	2	30	—	60		1.14	1.16	—	昭和57		
教育実践高度化専攻	※2	155	—	340	教職修士（専門 職）	0.60	0.57	—	平成20		平成31年度定員変 更、※一部3年在学 コースあり
大学院連合学校教育学研究科										兵庫県加東市下久米942-1	
学校教育実践学専攻	3	12	—	36	博士（学校教育 学）（学術）	1.00	1.00	—	平成31度		
先端課題実践開発専攻	3	6	—	18	博士（学校教育 学）	1.25	1.00	—	平成31度		
教科教育実践学専攻	3	18	—	54	博士（学校教育 学）（学術）	1.02	1.16	—	平成31度		

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科及び別科を除く）。

- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

- ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

- ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<連合学校教育学研究科教科教育実践学専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田中 雅和 (62) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士
		国語の表現と類型
専	教授	原 卓志 (60) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士
		国語の表現と類型
専	教授	伊土 耕平 (58) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田中 雅和 (63) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士
		国語の表現と類型
専	教授	原 卓志 (61) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士
		国語の表現と類型
専	教授	伊土 耕平 (59) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田中 雅和 (65) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士
		国語の表現と類型
専	教授	原 卓志 (62) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士
		国語の表現と類型
専	教授	伊土 耕平 (60) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		国語教育基礎特別研究 国語の表現と類型
専	教授	押木 秀樹 (55) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		国語の表現と類型 国語教材特別研究
専	教授	菅井 三実 (52) ＜平成31年 4 月＞ 修士（文学）
		国語教育基礎特別研究 国語の表現と類型
専	准教授	又吉 里美 (39) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学術）
		国語の表現と類型

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		国語教育基礎特別研究 国語の表現と類型
専	教授	押木 秀樹 (56) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		国語の表現と類型 国語教材特別研究
専	教授	菅井 三実 (53) ＜平成31年 4 月＞ 修士（文学）
		国語教育基礎特別研究 国語の表現と類型
専	准教授	又吉 里美 (40) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学術）
		国語の表現と類型

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		国語教育基礎特別研究 国語の表現と類型
専	教授	押木 秀樹 (57) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		国語の表現と類型 国語教材特別研究
専	教授	菅井 三実 (54) ＜平成31年 4 月＞ 修士（文学）
		国語教育基礎特別研究 国語の表現と類型
専	准教授	又吉 里美 (41) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学術）
		国語の表現と類型

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山口 眞琴 (61) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		国語文化の創造と受容
専	教授	小埜 裕二 (56) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士
		国語文化の創造と受容
		木村 功

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田中 大輝 (40) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		国語の表現と類型
専	教授	山口 眞琴 (62) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		国語文化の創造と受容
専	教授	小埜 裕二 (57) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士
		国語文化の創造と受容
		木村 功

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田中 大輝 (41) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		国語の表現と類型
専	教授	山口 眞琴 (63) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		国語文化の創造と受容
専	教授	小埜 裕二 (58) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士
		国語文化の創造と受容
		木村 功

専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(53) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士
		国語文化の創造と受容
専	教授	小島 明子 (53) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		国語文化の創造と受容
		土屋 聡 (43)

専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(54) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士
		国語文化の創造と受容
専	教授	小島 明子 (54) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		国語文化の創造と受容
		土屋 聡 (44)

専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(54) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士
		国語文化の創造と受容
専	教授	松田 聡 (52) ＜令和 2 年 4 月＞ 博士（文学）
		国語文化の創造と受容
		土屋 聡 (45)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		国語文化の創造と受容
専	准教授	黒田 俊太郎 (40) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		国語文化の創造と受容
専	教授	村井 万里子 (61) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		国語教育基礎特別研究
専	教授	田中 智生 (61) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		国語文化の創造と受容
専	准教授	黒田 俊太郎 (41) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		国語文化の創造と受容
専	教授	村井 万里子 (62) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		国語教育基礎特別研究
専	教授	田中 智生 (62) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		国語文化の創造と受容
専	准教授	黒田 俊太郎 (42) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		国語文化の創造と受容
専	教授	村井 万里子 (63) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		国語教育基礎特別研究
専	教授	田中 智生 (63) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		教育学修士
		国語教育課程特別研究
専	教授	余郷 裕次 (59) ＜平成31年4月＞ 教育学修士
		国語教材特別研究
専	教授	吉川 芳則 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		言語表現と言語認識の発達 国語教育課程特別研究 国語授業特別研究
専	教授	渡部 洋一郎 (54) ＜平成31年4月＞ 教育学修士

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		教育学修士
		国語教育課程特別研究
専	教授	余郷 裕次 (60) ＜平成31年4月＞ 教育学修士
		国語教材特別研究
専	教授	吉川 芳則 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		言語表現と言語認識の発達 国語教育課程特別研究 国語授業特別研究
専	教授	渡部 洋一郎 (55) ＜平成31年4月＞ 教育学修士

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		教育学修士
		国語教育課程特別研究
専	教授	余郷 裕次 (61) ＜平成31年4月＞ 教育学修士
		国語教材特別研究
専	教授	吉川 芳則 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		言語表現と言語認識の発達 国語教育課程特別研究 国語授業特別研究
専	教授	渡部 洋一郎 (56) ＜平成31年4月＞ 教育学修士

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		国語教育基礎特別研究 国語授業特別研究
専	教授	幾田 伸司 (50) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		国語教育課程特別研究
専	教授	浮田 真弓 (50) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		国語教育課程特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		国語教育基礎特別研究 国語授業特別研究
専	教授	幾田 伸司 (51) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		国語教育課程特別研究
専	教授	浮田 真弓 (51) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		国語教育課程特別研究
専	准教授	迎 勝彦 (51) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		国語授業特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		国語教育基礎特別研究 国語授業特別研究
専	教授	幾田 伸司 (52) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		国語教育課程特別研究
専	教授	浮田 真弓 (52) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		国語教育課程特別研究
専	教授	迎 勝彦 (52) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		国語授業特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	羽田 潤 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		国語教育課程特別研究 国語授業特別研究
専	教授	有働 眞理子 (61) ＜平成31年4月＞ M. A. in Linguistics
		英語表現・構造特別研究
専	教授	脇本 恭子 (60) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		英語表現・構造特別研究
		藪下 克彦

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	羽田 潤 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		国語教育課程特別研究 国語授業特別研究
専	教授	有働 眞理子 (62) ＜平成31年4月＞ M. A. in Linguistics
		英語表現・構造特別研究
専	教授	脇本 恭子 (61) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		英語表現・構造特別研究
		藪下 克彦

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	羽田 潤 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		国語教育課程特別研究 国語授業特別研究
専	教授	有働 眞理子 (63) ＜平成31年4月＞ M. A. in Linguistics
		英語表現・構造特別研究
専	教授	脇本 恭子 (62) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		英語表現・構造特別研究
		藪下 克彦

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(57) ＜平成31年4月＞ M. A. in Linguistics
		英語表現・構造特別研究
専	教授	谷 明信 (54) ＜平成31年4月＞ 博士（Ph. D.）
		英語表現・構造特別研究
専	教授	野地 美幸 (52) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		英語表現・構造特別研究
		眞野 美穂 (41)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(58) ＜平成31年4月＞ M. A. in Linguistics
		英語表現・構造特別研究
専	教授	谷 明信 (55) ＜平成31年4月＞ 博士（Ph. D.）
		英語表現・構造特別研究
専	教授	野地 美幸 (53) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		英語表現・構造特別研究
		眞野 美穂 (42)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(59) ＜平成31年4月＞ M. A. in Linguistics
		英語表現・構造特別研究
専	教授	野地 美幸 (54) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		英語表現・構造特別研究
		眞野 美穂 (43)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（学術）
		英語表現・構造特別研究
専	教授	大嶋 浩
		(62) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士 英語教育基礎特別研究 英語文化・コミュニケーション特別研究
専	准教授	岡田 和也
		(54) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（学術）
		英語表現・構造特別研究
専	特任教授	前田 一平 (65) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		英語文化・コミュニケーション特別研究
専	教授	大嶋 浩
		(63) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士 英語教育基礎特別研究 英語文化・コミュニケーション特別研究
専	准教授	岡田 和也
		(55) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（学術）
		英語表現・構造特別研究
専	特任教授	前田 一平 (66) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		英語文化・コミュニケーション特別研究
専	教授	大嶋 浩
		(64) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士 英語教育基礎特別研究 英語文化・コミュニケーション特別研究
専	准教授	岡田 和也
		(56) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（文学）
		教育実践基礎研究Ⅱ 英語文化・コミュニ ケーション特別研究
専	教授	高塚 成信 (63) ＜平成31年4月＞ 教育学修士
		英語教育課程特別研究 英語授業特別研究 英語教材特別研究
専	教授	大場 浩正 (56) ＜平成31年4月＞ 教育学修士
		英語教育課程特別研究 英語授業特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（文学）
		教育実践基礎研究Ⅱ 英語文化・コミュニ ケーション特別研究
専	教授	高塚 成信 (64) ＜平成31年4月＞ 教育学修士
		英語教育課程特別研究 英語授業特別研究 英語教材特別研究
専	教授	大場 浩正 (57) ＜平成31年4月＞ 教育学修士
		英語教育課程特別研究 英語授業特別研究
専	准教授	畑江 美佳 (54) ＜平成31年4月＞ 博士（総合社会文化）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（文学）
		英語文化・コミュニ ケーション特別研究
専	教授	高塚 成信 (65) ＜平成31年4月＞ 教育学修士
		英語教育課程特別研究 英語授業特別研究 英語教材特別研究
専	教授	大場 浩正 (58) ＜平成31年4月＞ 教育学修士
		英語教育課程特別研究 英語授業特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	Scott Willard GARDNER (52) ＜平成31年 4 月＞ M. A. in Linguistics
		英語教材特別研究
専	教授	吉田 達弘 (52) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		言語表現と言語認識の発 達 英語教育課程特別研究 英語授業特別研究
専	教授	山森 直人 (48) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		英語教育基礎特別研究 英語教育課程特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		英語教材特別研究
専	教授	Scott Willard GARDNER (53) ＜平成31年 4 月＞ M. A. in Linguistics
		英語教材特別研究
専	教授	吉田 達弘 (53) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		言語表現と言語認識の発 達 英語教育課程特別研究 英語授業特別研究
専	教授	山森 直人 (49) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		英語教育基礎特別研究 英語教育課程特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	Scott Willard GARDNER (54) ＜平成31年 4 月＞ M. A. in Linguistics
		英語教材特別研究
専	教授	吉田 達弘 (54) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		言語表現と言語認識の発 達 英語教育課程特別研究 英語授業特別研究
専	教授	山森 直人 (50) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		英語教育基礎特別研究 英語教育課程特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	安 直哉 (56) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学） 国語教育基礎特別研究 国語教育課程特別研究
専	教授	板東 美智子 (60) ＜平成31年 4 月＞ 博士（言語文化学） 英語表現・構造特別研究
専	教授	浅倉 有子 (61) ＜平成31年 4 月＞ 博士（人文科学） 人間の歴史と地域
		原田 誠司

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	安 直哉 (57) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学） 国語教育基礎特別研究 国語教育課程特別研究
専	教授	板東 美智子 (61) ＜平成31年 4 月＞ 博士（言語文化学） 英語表現・構造特別研究
専	教授	浅倉 有子 (62) ＜平成31年 4 月＞ 博士（人文科学） 人間の歴史と地域
		原田 誠司

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	安 直哉 (58) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学） 国語教育基礎特別研究 国語教育課程特別研究
専	教授	板東 美智子 (62) ＜平成31年 4 月＞ 博士（言語文化学） 英語表現・構造特別研究
専	教授	浅倉 有子 (63) ＜平成31年 4 月＞ 博士（人文科学） 人間の歴史と地域
		原田 誠司

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(58) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士
		人間の歴史と地域
専	教授	下里 俊行
		(58) ＜平成31年 4 月＞ 博士（社会学） 現代社会と社会認識形成 人間の歴史と地域
専	教授	森田 猛 (56) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文化史学）
		人間の歴史と地域
		畔上 直樹 (49)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(59) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士
		人間の歴史と地域
専	教授	下里 俊行
		(59) ＜平成31年 4 月＞ 博士（社会学） 現代社会と社会認識形成 人間の歴史と地域
専	教授	森田 猛 (57) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文化史学）
		人間の歴史と地域
		畔上 直樹 (50)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(60) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士
		人間の歴史と地域
専	教授	下里 俊行
		(60) ＜平成31年 4 月＞ 博士（社会学） 現代社会と社会認識形成 人間の歴史と地域
専	教授	森田 猛 (58) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文化史学）
		人間の歴史と地域
		畔上 直樹 (51)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（史学）
		人間の歴史と地域
専	教授	原田 昌博 (47) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		人間の歴史と地域
専	准教授	町田 哲 (46) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		人間の歴史と地域

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（史学）
		人間の歴史と地域
専	教授	原田 昌博 (48) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		人間の歴史と地域
専	准教授	町田 哲 (47) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		人間の歴史と地域
専	准教授	村井 良介 (44) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（史学）
		人間の歴史と地域
専	教授	原田 昌博 (49) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		人間の歴史と地域
専	准教授	町田 哲 (48) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		人間の歴史と地域
専	教授	村井 良介 (44) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	飯田 洋介 (41) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		人間の歴史と地域
専	教授	立岡 裕士 (60) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士
		人間の歴史と地域
専	教授	山縣 耕太郎 (54) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（文学）
		人間の歴史と地域
専	准教授	飯田 洋介 (42) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		人間の歴史と地域
専	教授	立岡 裕士 (61) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士
		人間の歴史と地域
専	教授	山縣 耕太郎 (55) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（文学）
		人間の歴史と地域
専	准教授	飯田 洋介 (43) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		人間の歴史と地域
専	教授	立岡 裕士 (62) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士
		人間の歴史と地域
専	教授	山縣 耕太郎 (56) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		地域と環境
専	教授	南 埜 猛 (53) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		地域と環境
専	教授	川 田 力 (53) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士
		地域と環境
専	教授	松 多 信 尚 (46) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学）
		地域と環境
		畠 山 輝 雄

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		地域と環境
専	教授	南 埜 猛 (54) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		地域と環境
専	教授	川 田 力 (54) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士
		地域と環境
専	教授	松 多 信 尚 (47) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学）
		地域と環境
		畠 山 輝 雄

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		地域と環境
専	教授	南 埜 猛 (55) ＜平成31年 4 月＞ 博士（文学）
		地域と環境
専	教授	川 田 力 (55) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士
		地域と環境
専	教授	松 多 信 尚 (48) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学）
		地域と環境
		畠 山 輝 雄

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	(40) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学） 地域と環境
専	教授	小南 浩一 (62) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学） 社会制度と人間行動
		大江 洋 (57)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	(41) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学） 地域と環境
専	准教授	橋本 晓子 (36) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学） 人間の歴史と地域 地域と環境
専	教授	小南 浩一 (63) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学） 社会制度と人間行動
		大江 洋 (58)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	(42) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学） 地域と環境
専	准教授	橋本 晓子 (37) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学） 人間の歴史と地域 地域と環境
専	教授	小南 浩一 (64) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学） 社会制度と人間行動
		大江 洋 (59)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（法学）
		教育実践基礎研究Ⅱ 社会制度と人間行動
専	准教授	小島 伸之 (48) ＜平成31年 4 月＞ 博士（社会学）
		社会制度と人間行動
専	准教授	麻生 多聞 (47) ＜平成31年 4 月＞ 修士（法学）
		社会制度と人間行動
専	教授	難波 安彦 (63) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（法学）
		教育実践基礎研究Ⅱ 社会制度と人間行動
専	教授	小島 伸之 (49) ＜平成31年 4 月＞ 博士（社会学）
		社会制度と人間行動
専	准教授	麻生 多聞 (48) ＜平成31年 4 月＞ 修士（法学）
		社会制度と人間行動
専	教授	難波 安彦 (64) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（法学）
		社会制度と人間行動
専	教授	小島 伸之 (50) ＜平成31年 4 月＞ 博士（社会学）
		社会制度と人間行動
専	准教授	麻生 多聞 (49) ＜平成31年 4 月＞ 修士（法学）
		社会制度と人間行動
専	教授	難波 安彦 (64) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（経済学）
		社会制度と人間行動
専	教授	青葉 暢子 (53) ＜平成31年 4 月＞ 博士（経済学）
		社会制度と人間行動
専	准教授	吉田 昌幸 (41) ＜平成31年 4 月＞ 博士（経済学）
		社会制度と人間行動
専	教授	山本 準 (63) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（経済学）
		社会制度と人間行動
専	教授	青葉 暢子 (54) ＜平成31年 4 月＞ 博士（経済学）
		社会制度と人間行動
専	准教授	吉田 昌幸 (42) ＜平成31年 4 月＞ 博士（経済学）
		社会制度と人間行動
専	教授	山本 準 (64) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	青葉 暢子 (55) ＜平成31年 4 月＞ 博士（経済学）
		社会制度と人間行動
専	准教授	吉田 昌幸 (43) ＜平成31年 4 月＞ 博士（経済学）
		社会制度と人間行動

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		社会制度と人間行動
専	教授	森 秀樹 (54) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士
		人間と思想
		課題研究Ⅰ～Ⅴ
専	教授	西村 公孝 (64) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学） 社会認識授業特別研究 生活科教育特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		社会制度と人間行動
専	教授	森 秀樹 (55) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士
		人間と思想
専	特任 教授	原田 智仁 (67) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		課題研究Ⅰ～Ⅴ
専	教授	西村 公孝 (65) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学） 社会認識授業特別研究 生活科教育特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	森 秀樹 (56) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士
		人間と思想
専	特任 教授	原田 智仁 (68) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		課題研究Ⅰ～Ⅴ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	關 浩和 (59) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		社会認識授業特別研究 生活科教育特別研究
専	教授	梅津 正美 (57) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		社会認識教育基礎特別研究 社会認識授業特別研究 社会認識教材特別研究
専	教授	志村 喬 (57) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		現代社会と社会認識形成 社会認識教育基礎特別研究 社会認識教材特別研究
		茨木 智志

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	關 浩和 (60) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		社会認識授業特別研究 生活科教育特別研究
専	教授	梅津 正美 (58) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		社会認識教育基礎特別研究 社会認識授業特別研究 社会認識教材特別研究
専	教授	志村 喬 (58) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		現代社会と社会認識形成 社会認識教育基礎特別研究 社会認識教材特別研究
		茨木 智志

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	關 浩和 (61) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		社会認識授業特別研究 生活科教育特別研究
専	教授	梅津 正美 (59) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		社会認識教育基礎特別研究 社会認識授業特別研究 社会認識教材特別研究
専	教授	志村 喬 (59) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		現代社会と社会認識形成 社会認識教育基礎特別研究 社会認識教材特別研究
		茨木 智志

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(56) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		社会認識授業特別研究 社会認識教材特別研究
専	教授	吉水 裕也 (55) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		社会認識教育課程特別研究 社会認識教材特別研究
専	教授	桑原 敏典 (50) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		社会認識教育課程特別研究 社会認識授業特別研究 社会認識教材特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(57) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		社会認識授業特別研究 社会認識教材特別研究
専	教授	吉水 裕也 (56) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		社会認識教育課程特別研究 社会認識教材特別研究
専	教授	桑原 敏典 (51) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		社会認識教育課程特別研究 社会認識授業特別研究 社会認識教材特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(58) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		社会認識授業特別研究 社会認識教材特別研究
専	教授	吉水 裕也 (57) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		社会認識教育課程特別研究 社会認識教材特別研究
専	教授	桑原 敏典 (52) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		社会認識教育課程特別研究 社会認識授業特別研究 社会認識教材特別研究
		山内 敏男 (51)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山田 秀和 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		社会認識教育基礎特別 研究 社会認識授業特別研究
専	准教授	井上 奈穂 (41) ＜平成31年4月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	中平 一義 (45) ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）
		社会認識教育課程特別 研究 社会認識授業特別研究
専	准教授	山田 秀和 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		社会認識教育基礎特別 研究 社会認識授業特別研究
専	准教授	井上 奈穂 (42) ＜平成31年4月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	＜令和2年4月＞ 博士（学校教育学）
		社会認識授業特別研究 社会認識教材特別研究
専	准教授	中平 一義 (46) ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）
		社会認識教育課程特別 研究 社会認識授業特別研究
専	准教授	山田 秀和 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		社会認識教育基礎特別 研究 社会認識授業特別研究
専	准教授	井上 奈穂 (43) ＜平成31年4月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（教育学）
		社会認識授業特別研究
専	准教授	田中 伸 (38) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学） 社会認識教育課程特別 研究 社会認識授業特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（教育学）
		社会認識授業特別研究
専	准教授	福田 喜彦 (42) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学） 社会認識授業特別研究
専	准教授	田中 伸 (39) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学） 社会認識教育課程特別 研究 社会認識授業特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（教育学）
		社会認識授業特別研究
専	准教授	福田 喜彦 (43) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学） 社会認識授業特別研究
専	准教授	田中 伸 (40) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学） 社会認識教育課程特別 研究 社会認識授業特別研究
専	助教	阪上 弘彬 (31) ＜令和 2 年 4 月＞ 博士（教育学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中川 仁
		(60) ＜平成31年4月＞ 理学博士 数学教育課程特別研究 数理構造論
専	准教授	吉川 昌慶
		(42) ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 数理構造論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中川 仁
		(61) ＜平成31年4月＞ 理学博士 数学教育課程特別研究 数理構造論
専	准教授	林田 秀一
		(44) ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 数学教育課程特別研究
専	准教授	吉川 昌慶
		(43) ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 数理構造論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		社会認識教育基礎特別 研究社会認識授業特別 研究
専	教授	中川 仁
		(62) ＜平成31年4月＞ 理学博士 数学教育課程特別研究 数理構造論
専	准教授	林田 秀一
		(45) ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 数学教育課程特別研究
専	准教授	吉川 昌慶
		(44) ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 数理構造論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	宮内 通孝 (41) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		数学の本質と数学教育
専	准教授	仲田 研登 (40) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		数学教育基礎特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	宮内 通孝 (42) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		数学の本質と数学教育
専	准教授	仲田 研登 (41) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		数学教育基礎特別研究
		松岡 隆

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	宮内 通孝 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		数学の本質と数学教育
専	准教授	長谷川 武博 (42) ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		数理構造論
専	准教授	仲田 研登 (42) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		数学教育基礎特別研究

専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	濱中 裕明 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 数理構造論 数学の本質と数学教育
		斎藤 敏夫 (42)

専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	特任教授	(65) ＜平成31年4月＞ 理学博士 数理構造論 数理基礎科学教育
専	教授	濱中 裕明 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 数理構造論 数学の本質と数学教育
専	准教授	中川 征樹 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 新しいサイエンス・リテラシー
		斎藤 敏夫 (43)

専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	濱中 裕明 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 数理構造論 数学の本質と数学教育
専	准教授	中川 征樹 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 新しいサイエンス・リテラシー
		斎藤 敏夫 (44)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（理学）
		数理構造論 数学の本質と数学教育
専	教授	松本 健吾 (56) ＜平成31年 4 月＞ 理学博士
		数理構造論 数理基礎科学教育
専	准教授	出末 光夫 (38) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学）
		数理構造論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（理学）
		数理構造論 数学の本質と数学教育
専	教授	松本 健吾 (57) ＜平成31年 4 月＞ 理学博士
		数理構造論 数理基礎科学教育
専	教授	中村 登 (50) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（理学）
		数理構造論 数学の本質と数学教育
専	教授	松本 健吾 (58) ＜平成31年 4 月＞ 理学博士
		数理構造論 数理基礎科学教育
専	教授	中村 登 (51) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐伯 昭彦
		(60) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学） 数学教材特別研究
専	教授	秋田 美代
		(53) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（理学）
		数学の本質と数学教育
専	教授	佐伯 昭彦
		(61) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学） 数学教材特別研究
専	教授	布川 和彦
		(56) ＜平成31年4月＞ 教育学修士 数学授業特別研究
専	教授	秋田 美代
		(54) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（理学）
		数学の本質と数学教育
専	教授	布川 和彦
		(57) ＜平成31年4月＞ 教育学修士 数学授業特別研究
専	教授	秋田 美代
		(55) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		数学授業特別研究 数学教材特別研究
専	教授	岡崎 正和 (48) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		数学授業特別研究 数学教材特別研究
専	准教授	宮川 健 (46) ＜平成31年 4 月＞ Doctorat（数学・情報学）
		数学授業特別研究
専	教授	庭瀬 敬右 (58) ＜平成31年 4 月＞ 工学博士
		教育実践基礎研究Ⅱ 新しいサイエンス・リテラシー 理科教育における実験観察 理科教材特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		数学授業特別研究 数学教材特別研究
専	教授	岡崎 正和 (49) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		数学授業特別研究 数学教材特別研究
専	教授	庭瀬 敬右 (59) ＜平成31年 4 月＞ 工学博士
		教育実践基礎研究Ⅱ 新しいサイエンス・リテラシー 理科教育における実験観察 理科教材特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		数学授業特別研究 数学教材特別研究
専	教授	岡崎 正和 (50) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		数学授業特別研究 数学教材特別研究
専	教授	庭瀬 敬右 (60) ＜平成31年 4 月＞ 工学博士
		新しいサイエンス・リテラシー 理科教育における実験観察 理科教材特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	本田 亮 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		物質の基礎と機能性物質
専	教授	武田 清 (54) ＜平成31年4月＞ 理学博士
		物質の基礎と機能性物質 理科教育における実験観察
専	教授	稲田 佳彦 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		物質の基礎と機能性物質
		伊藤 恵司

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	本田 亮 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		物質の基礎と機能性物質
専	教授	武田 清 (55) ＜平成31年4月＞ 理学博士
		物質の基礎と機能性物質 理科教育における実験観察
専	教授	稲田 佳彦 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		物質の基礎と機能性物質
		伊藤 恵司

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	本田 亮 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		物質の基礎と機能性物質
専	教授	武田 清 (56) ＜平成31年4月＞ 理学博士
		物質の基礎と機能性物質 理科教育における実験観察
専	教授	稲田 佳彦 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		物質の基礎と機能性物質
		伊藤 恵司

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(47) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学）
		エネルギー・環境と生命現象 の科学 物質の基礎と機能性物 質
専	准教授	小川 佳宏 (44) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学）
		エネルギー・環境と生命現象 の科学 物質の基礎と機能性物 質

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(48) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学）
		エネルギー・環境と生命現象 の科学 物質の基礎と機能性物 質
専	教授	小川 佳宏 (45) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学）
		エネルギー・環境と生命現象 の科学 物質の基礎と機能性物 質
		宮口 智成 (43)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(49) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学）
		エネルギー・環境と生命現象 の科学 物質の基礎と機能性物 質
専	准教授	猪本 修 (48) ＜令和 2 年 4 月＞ 博士（工学）
		エネルギー・環境と生 命現象の科学
専	教授	小川 佳宏 (46) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学）
		エネルギー・環境と生命現象 の科学 物質の基礎と機能性物 質
		宮口 智成 (44)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		理学博士
		物質の基礎と機能性物質 理科教育における実験 観察
専	准教授	山口 忠承
		(47) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）
		物質の基礎と機能性物質
専	教授	吉岡 秀文
		(63) ＜平成31年4月＞ 理学博士
		環境と生命現象 の科学
専	教授	中村 雅彦
		(59) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		理学博士
		物質の基礎と機能性物質 理科教育における実験 観察
専	准教授	山口 忠承
		(48) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）
		物質の基礎と機能性物質
専	教授	吉岡 秀文
		(64) ＜平成31年4月＞ 理学博士
		環境と生命現象 の科学
専	教授	中村 雅彦
		(60) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		理学博士
		物質の基礎と機能性物質 理科教育における実験 観察
専	准教授	山口 忠承
		(49) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）
		物質の基礎と機能性物質
専	教授	
専	教授	中村 雅彦
		(61) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		I・II・III・環境と生命現象 の科学 理科教育における実験 観察
専	教授	安藤 元紀 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		I・II・III・環境と生命現象 の科学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		I・II・III・環境と生命現象 の科学 理科教育における実験 観察
専	教授	安藤 元紀 (54) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		I・II・III・環境と生命現象 の科学
専	特任 教授	村田 守 (66) ＜平成31年4月＞ 理学博士
		地球システム教育
専	特任 教授	天野 和孝 (65) ＜平成31年4月＞ 理学博士
		地球システム教育 理科教育における実験 観察

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		I・II・III・環境と生命現象 の科学 理科教育における実験 観察
専	教授	安藤 元紀 (55) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		I・II・III・環境と生命現象 の科学
専	特任 教授	村田 守 (67) ＜平成31年4月＞ 理学博士
		地球システム教育
専	特任 教授	天野 和孝 (66) ＜平成31年4月＞ 理学博士
		地球システム教育 理科教育における実験 観察

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	澁江 靖弘 (62) ＜平成31年4月＞ 理学博士 新しいサイエンス・リテラシー 地球システム教育
専	教授	竹村 厚司 (61) ＜平成31年4月＞ 理学博士 地球システム教育
専	教授	小澤 大成 (54) ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 地球システム教育 理科教育における実験 観察
		濤崎 智佳

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	澁江 靖弘 (63) ＜平成31年4月＞ 理学博士 新しいサイエンス・リテラシー 地球システム教育
専	教授	竹村 厚司 (62) ＜平成31年4月＞ 理学博士 地球システム教育
専	教授	小澤 大成 (55) ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 地球システム教育 理科教育における実験 観察
		濤崎 智佳

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	澁江 靖弘 (64) ＜平成31年4月＞ 理学博士 新しいサイエンス・リテラシー 地球システム教育
専	教授	竹村 厚司 (63) ＜平成31年4月＞ 理学博士 地球システム教育
専	教授	小澤 大成 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 地球システム教育 理科教育における実験 観察
		濤崎 智佳

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(54) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学） 地球システム教育 理科教育における実験 観察
		宇野 康司 (47) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学）
		地球システム教育
		松本 伸示 (62) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		理科教育課程特別研究 理科授業特別研究 生活科教育特別研究
		山本 智一 (49)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(55) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学） 地球システム教育 理科教育における実験 観察
		宇野 康司 (48) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学）
		地球システム教育
		松本 伸示 (63) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		理科教育課程特別研究 理科授業特別研究 生活科教育特別研究
		山本 智一 (50)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(56) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学） 地球システム教育 理科教育における実験 観察
		宇野 康司 (49) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学）
		地球システム教育
		松本 伸示 (64) ＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		理科教育課程特別研究 理科授業特別研究 生活科教育特別研究
		山本 智一 (51)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		理科教育課程特別研究 理科授業特別研究
専	教授	藤岡 達也 (58) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学術）
		理科教育課程特別研究 理科授業特別研究
専	准教授	花木 良 (37) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		理科教育課程特別研究 理科授業特別研究
専	教授	古屋 光一 (60) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		理科教育課程特別研究 理科授業特別研究
専	教授	藤岡 達也 (59) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学術）
		理科教育課程特別研究 理科授業特別研究
専	准教授	花木 良 (38) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		理科教育課程特別研究 理科授業特別研究
専	教授	古屋 光一 (61) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		理科教育課程特別研究 理科授業特別研究
専	教授	藤岡 達也 (60) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学術）
		理科教育課程特別研究 理科授業特別研究
専	准教授	花木 良 (39) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（理学）
		数理構造論
専	教授	恒川 雅典 (46) ＜平成31年 4 月＞ 博士（工学）
		物質の基礎と機能性物質
専	教授	服部 昭尚 (55) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学）
		エネルギー、環境と生命現象の科学
専	教授	糸乗 前 (53) ＜平成31年 4 月＞ 博士（農学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（理学）
		数理構造論
専	教授	恒川 雅典 (47) ＜平成31年 4 月＞ 博士（工学）
		物質の基礎と機能性物質
専	教授	服部 昭尚 (56) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学）
		エネルギー、環境と生命現象の科学
専	教授	糸乗 前 (54) ＜平成31年 4 月＞ 博士（農学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（理学）
		数理構造論
専	教授	恒川 雅典 (48) ＜平成31年 4 月＞ 博士（工学）
		物質の基礎と機能性物質
専	教授	服部 昭尚 (57) ＜平成31年 4 月＞ 博士（理学）
		エネルギー、環境と生命現象の科学
専	教授	糸乗 前 (55) ＜平成31年 4 月＞ 博士（農学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		物質の基礎と機能性物質 理科教育における実験 観察
専	教授	穂積 俊輔 (58) ＜平成31年 4 月＞ 理学博士
		地球システム教育
専	教授	徳田 陽明 (44) ＜平成31年 4 月＞ 博士（工学）
		物質の基礎と機能性物質 理科教育における実験 観察
専	教授	山根 秀憲 (63) ＜平成31年 4 月＞ 芸術学修士
		音楽表現と技法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		物質の基礎と機能性物質 理科教育における実験 観察
専	教授	穂積 俊輔 (59) ＜平成31年 4 月＞ 理学博士
		地球システム教育
専	教授	徳田 陽明 (45) ＜平成31年 4 月＞ 博士（工学）
		物質の基礎と機能性物質 理科教育における実験 観察
専	教授	山根 秀憲 (64) ＜平成31年 4 月＞ 芸術学修士
		音楽表現と技法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		物質の基礎と機能性物質 理科教育における実験 観察
専	教授	穂積 俊輔 (60) ＜平成31年 4 月＞ 理学博士
		地球システム教育
専	教授	徳田 陽明 (46) ＜平成31年 4 月＞ 博士（工学）
		物質の基礎と機能性物質 理科教育における実験 観察
専	教授	

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	平野 俊介 (62) ＜平成31年4月＞ 芸術学修士
		音楽表現と技法
専	教授	木下 千代 (61) ＜平成31年4月＞ 芸術学修士
		音楽表現と技法
専	教授	新山 眞弓 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		音楽表現と技法
		森 正

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	平野 俊介 (63) ＜平成31年4月＞ 芸術学修士
		音楽表現と技法
専	教授	木下 千代 (62) ＜平成31年4月＞ 芸術学修士
		音楽表現と技法
専	教授	新山 眞弓 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		音楽表現と技法
		森 正

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	平野 俊介 (64) ＜平成31年4月＞ 芸術学修士
		音楽表現と技法
専	教授	木下 千代 (63) ＜平成31年4月＞ 芸術学修士
		音楽表現と技法
専	教授	新山 眞弓 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		音楽表現と技法
		森 正

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(58) ＜平成31年 4 月＞ 芸術学修士
		音楽表現と技法
専	教授	長岡 功 (57) ＜平成31年 4 月＞ 芸術学修士
		音楽表現と技法
		諸田 大輔 (43)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(59) ＜平成31年 4 月＞ 芸術学修士
		音楽表現と技法
専	教授	長岡 功 (58) ＜平成31年 4 月＞ 芸術学修士
		音楽表現と技法
		諸田 大輔 (44)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(60) ＜平成31年 4 月＞ 芸術学修士
		音楽表現と技法
専	教授	長岡 功 (59) ＜平成31年 4 月＞ 芸術学修士
		音楽表現と技法
専	准教授	河内 勇 (54) ＜令和 2 年 4 月＞ 無
		音楽表現と技法
		諸田 大輔 (45)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（音楽）
		音楽表現と技法
専	教授	虫明 眞砂子 (59) ＜平成31年 4 月＞ 芸術学修士
		音楽表現と技法
専	准教授	野本 立人 (54) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（音楽）
		音楽表現と技法
専	特任教授	頃安 利秀 (65) ＜平成31年 4 月＞ 音楽学士
		音楽表現と技法
専	教授	虫明 眞砂子 (60) ＜平成31年 4 月＞ 芸術学修士
		音楽表現と技法
専	准教授	野本 立人 (55) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（音楽）
		音楽表現と技法
専	特任教授	頃安 利秀 (66) ＜平成31年 4 月＞ 音楽学士
		音楽表現と技法
専	教授	虫明 眞砂子 (61) ＜平成31年 4 月＞ 芸術学修士
		音楽表現と技法
専	准教授	野本 立人 (56) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		修士（芸術学）
		音楽表現と技法
専	教授	草野 次郎 (63) ＜平成31年 4 月＞ 芸術学修士
		音楽表現と技法
専	教授	齊藤 武 (59) ＜平成31年 4 月＞ 芸術学修士
		音楽表現と技法
専	准教授	玉村 恭 (40) ＜平成31年 4 月＞ 修士（文学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		修士（芸術学）
		音楽表現と技法
専	教授	草野 次郎 (64) ＜平成31年 4 月＞ 芸術学修士
		音楽表現と技法
専	教授	齊藤 武 (60) ＜平成31年 4 月＞ 芸術学修士
		音楽表現と技法
専	准教授	玉村 恭 (41) ＜平成31年 4 月＞ 修士（文学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		修士（芸術学）
		音楽表現と技法
専	教授	齊藤 武 (61) ＜平成31年 4 月＞ 芸術学修士
		音楽表現と技法
専	准教授	玉村 恭 (42) ＜平成31年 4 月＞ 修士（文学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		音楽鑑賞と理論
専	教授	小川 容子 (59) ＜平成31年 4 月＞ 博士（人間科学）
		人間の成長と芸術活動 音楽授業特別研究 音楽教材特別研究
専	教授	時得 紀子 (58) ＜平成31年 4 月＞ Doctor of Education
		音楽教育課程特別研究 音楽授業特別研究 音楽教材特別研究
専	准教授	尾崎 祐司 (48) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		音楽授業特別研究 音楽教材特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		音楽鑑賞と理論
専	教授	小川 容子 (60) ＜平成31年 4 月＞ 博士（人間科学）
		人間の成長と芸術活動 音楽授業特別研究 音楽教材特別研究
専	教授	時得 紀子 (59) ＜平成31年 4 月＞ Doctor of Education
		音楽教育課程特別研究 音楽授業特別研究 音楽教材特別研究
専	准教授	尾崎 祐司 (49) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		音楽授業特別研究 音楽教材特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		音楽鑑賞と理論
専	教授	小川 容子 (61) ＜平成31年 4 月＞ 博士（人間科学）
		人間の成長と芸術活動 音楽授業特別研究 音楽教材特別研究
専	教授	時得 紀子 (60) ＜平成31年 4 月＞ Doctor of Education
		音楽教育課程特別研究 音楽授業特別研究 音楽教材特別研究
専	准教授	尾崎 祐司 (50) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		音楽授業特別研究 音楽教材特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(59) ＜平成31年 4 月＞ 芸術学修士
		美術表現と技法
専	准教授	大西 久 (50) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		美術表現と技法
専	准教授	伊藤 将和 (40) ＜平成31年 4 月＞ 博士（美術）
		美術表現と技法
		野崎 窮 (63)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(60) ＜平成31年 4 月＞ 芸術学修士
		美術表現と技法
専	准教授	大西 久 (51) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		美術表現と技法
専	准教授	伊藤 将和 (41) ＜平成31年 4 月＞ 博士（美術）
		美術表現と技法
		野崎 窮 (64)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(61) ＜平成31年 4 月＞ 芸術学修士
		美術表現と技法
専	准教授	大西 久 (52) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		美術表現と技法
専	准教授	伊藤 将和 (42) ＜平成31年 4 月＞ 博士（美術）
		美術表現と技法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 芸術学修士
		美術表現と技法
専	教授	村上 裕介 (54) ＜平成31年 4 月＞ 芸術学修士
		美術表現と技法
専	准教授	前芝 武史 (46) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 芸術学修士
		美術表現と技法
専	教授	村上 裕介 (55) ＜平成31年 4 月＞ 芸術学修士
		美術表現と技法
専	准教授	前芝 武史 (47) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	村上 裕介 (56) ＜平成31年 4 月＞ 芸術学修士
		美術表現と技法
専	教授	河西 栄二 (53) ＜令和 2 年 4 月＞ 無
		美術表現と技法
専	教授	前芝 武史 (48) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		修士（芸術学）
		美術表現と技法
専	准教授	松尾 大介
		(44)
		＜平成31年 4 月＞
		修士（芸術学） 美術表現と技法
専	教授	内藤 隆
		(54)
		＜平成31年 4 月＞
		芸術学修士 美術表現と技法
専	教授	山本 和史
		(55)
		＜平成31年 4 月＞
		教育学修士

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		修士（芸術学）
		美術表現と技法
専	准教授	松尾 大介
		(45)
		＜平成31年 4 月＞
		修士（芸術学） 美術表現と技法
専	教授	内藤 隆
		(55)
		＜平成31年 4 月＞
		芸術学修士 美術表現と技法
専	教授	山本 和史
		(56)
		＜平成31年 4 月＞
		教育学修士

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		修士（芸術学）
		美術表現と技法
専	准教授	松尾 大介
		(46)
		＜平成31年 4 月＞
		修士（芸術学） 美術表現と技法
専	教授	内藤 隆
		(56)
		＜平成31年 4 月＞
		芸術学修士 美術表現と技法
専	教授	山本 和史
		(57)
		＜平成31年 4 月＞
		教育学修士

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		美術表現と技法
専	准教授	浅海 真弓 (47) ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）
		美術表現と技法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		美術表現と技法
専	准教授	浅海 真弓 (48) ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）
		美術表現と技法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		美術表現と技法
専	准教授	浅海 真弓 (49) ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）
		美術表現と技法
専	准教授	隼瀬 大輔 (43) ＜令和2年4月＞
		無
		美術表現と技法
専	助教	齋 期天 (37) ＜令和2年4月＞
		博士（美術）
		美術表現と技法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小川 勝 (61) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		美術鑑賞と理論
専	教授	喜多村 明里 (55) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		美術鑑賞と理論
専	教授	山木 朝彦 (63) ＜平成31年4月＞ 教育学修士
		美術教育基礎特別研究 美術教育課程特別研究
		大橋 功

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小川 勝 (62) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		美術鑑賞と理論
専	教授	喜多村 明里 (56) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		美術鑑賞と理論
専	教授	山木 朝彦 (64) ＜平成31年4月＞ 教育学修士
		美術教育基礎特別研究 美術教育課程特別研究
		大橋 功

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小川 勝 (63) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		美術鑑賞と理論
専	教授	喜多村 明里 (57) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		美術鑑賞と理論
専	教授	
		大橋 功

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(60) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		美術授業特別研究
専	教授	松本 健義 (58) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		人間の成長と芸術活動 美術授業特別研究
専	教授	高木 厚子 (57) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士
		美術教育課程特別研究
		赤木 里香子 (56)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(61) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		美術授業特別研究
専	教授	松本 健義 (59) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		人間の成長と芸術活動 美術授業特別研究
専	教授	高木 厚子 (58) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士
		美術教育課程特別研究
		赤木 里香子 (57)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(62) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		美術授業特別研究
専	教授	松本 健義 (60) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		人間の成長と芸術活動 美術授業特別研究
専	教授	高木 厚子 (59) ＜平成31年 4 月＞ 文学修士
		美術教育課程特別研究
		赤木 里香子 (58)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 学術博士
		美術教材特別研究
専	教授	山田 芳明 (53) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		美術授業特別研究 美術教材特別研究
専	准教授	清田 哲男 (47) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学） 美術授業特別研究 美術教材特別研究
専	准教授	山本 政幸 (50) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 学術博士
		美術教材特別研究
専	教授	山田 芳明 (54) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		美術授業特別研究 美術教材特別研究
専	教授	清田 哲男 (48) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学） 美術授業特別研究 美術教材特別研究
専	准教授	山本 政幸 (51) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 学術博士
		美術教材特別研究
専	教授	山田 芳明 (55) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士
		美術授業特別研究 美術教材特別研究
専	教授	清田 哲男 (49) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学） 美術授業特別研究 美術教材特別研究
専	教授	山本 政幸 (52) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（デザイン学）
		美術表現と技法
専	教授	新関 伸也 (58) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		美術授業特別研究 美術教材特別研究
専	教授	中村 史朗 (57) ＜平成31年 4 月＞ 芸術学修士
		美術表現と技法 美術鑑賞と理論
専	教授	木原 資裕 (62) ＜平成31年 4 月＞ 博士（栄養学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（デザイン学）
		美術表現と技法
専	教授	新関 伸也 (59) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		美術授業特別研究 美術教材特別研究
専	教授	中村 史朗 (58) ＜平成31年 4 月＞ 芸術学修士
		美術表現と技法 美術鑑賞と理論
専	教授	木原 資裕 (63) ＜平成31年 4 月＞ 博士（栄養学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（デザイン学）
		美術表現と技法
専	教授	新関 伸也 (60) ＜平成31年 4 月＞ 修士（教育学）
		美術授業特別研究 美術教材特別研究
専	教授	中村 史朗 (59) ＜平成31年 4 月＞ 芸術学修士
		美術表現と技法 美術鑑賞と理論
専	教授	木原 資裕 (64) ＜平成31年 4 月＞ 博士（栄養学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		スポーツの科学
専	教授	田中 弘之 (63) ＜平成31年4月＞ 医学博士
		生活環境の創造 スポーツの科学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		スポーツの科学
専	教授	田中 弘之 (64) ＜平成31年4月＞ 医学博士
		生活環境の創造 スポーツの科学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		スポーツの科学
専	教授	藤田 雅文 (63) ＜令和2年4月＞ 無
		スポーツの科学
		中須賀 巧 (34) ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）
		スポーツの科学
専	講師	
専	教授	田中 弘之 (65) ＜平成31年4月＞ 医学博士
		生活環境の創造 スポーツの科学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	梶谷 信之 (62) ＜平成31年4月＞ 体育学士
		スポーツの科学
専	教授	鈴木 久雄 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		スポーツの科学
専	教授	山本 忠志 (61) ＜平成31年4月＞ 医学博士
		スポーツの科学
		加賀 勝

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	梶谷 信之 (63) ＜平成31年4月＞ 体育学士
		スポーツの科学
専	教授	鈴木 久雄 (63) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		スポーツの科学
専	教授	山本 忠志 (62) ＜平成31年4月＞ 医学博士
		スポーツの科学
		加賀 勝

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	梶谷 信之 (64) ＜平成31年4月＞ 体育学士
		スポーツの科学
専	教授	鈴木 久雄 (64) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		スポーツの科学
専	教授	山本 忠志 (63) ＜平成31年4月＞ 医学博士
		スポーツの科学
		加賀 勝

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(59) ＜平成31年 4 月＞ 博士（医学）
		スポーツの科学
専	准教授	小田 俊明 (42) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学術）
		スポーツの科学
		松浦 亮太 (38)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(60) ＜平成31年 4 月＞ 博士（医学）
		スポーツの科学
専	准教授	小田 俊明 (43) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学術）
		スポーツの科学
		松浦 亮太 (39)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(61) ＜平成31年 4 月＞ 博士（医学）
		スポーツの科学
専	教授	小田 俊明 (44) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学術）
		スポーツの科学
		松田 繁樹 (42) ＜令和 2 年 4 月＞ 博士（学術）
		スポーツの科学
		松浦 亮太 (40)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		スポーツの科学
専	教授	西岡 伸紀
		(60) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士 保健体育教育課程特別 研究 健康の科学
専	教授	伊藤 武彦
		(56) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		スポーツの科学
専	教授	西岡 伸紀
		(61) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士 保健体育教育課程特別 研究 健康の科学
専	教授	伊藤 武彦
		(57) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（教育学）
		スポーツの科学
専	准教授	上田 真也
		(37)
		＜令和 2 年 4 月＞
		博士（医学）
		スポーツの科学
専	教授	西岡 伸紀
		(62) ＜平成31年 4 月＞ 教育学修士 保健体育教育課程特別 研究 健康の科学
専	教授	伊藤 武彦
		(58) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（医学）
		生活環境の創造 健康の科学
専	教授	三村 由香里 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		健康の科学
専	教授	松枝 睦美 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		健康の科学
専	准教授	上村 弘子 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（医学）
		生活環境の創造 健康の科学
専	教授	三村 由香里 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		健康の科学
専	教授	松枝 睦美 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		健康の科学
専	教授	上村 弘子 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（医学）
		生活環境の創造 健康の科学
専	教授	三村 由香里 (54) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		健康の科学
専	教授	松枝 睦美 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		健康の科学
専	教授	上村 弘子 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		健康の科学
専	准教授	岡本 希 (45) ＜平成31年 4 月＞ 博士（医学）
		教育実践基礎研究Ⅰ 健康の科学
専	教授	足立 稔 (55) ＜平成31年 4 月＞ 博士（医学）
		保健体育教育基礎特別 研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		健康の科学
専	准教授	岡本 希 (46) ＜平成31年 4 月＞ 博士（医学）
		教育実践基礎研究Ⅰ 健康の科学
専	教授	足立 稔 (56) ＜平成31年 4 月＞ 博士（医学）
		保健体育教育基礎特別 研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		健康の科学
専	准教授	岡本 希 (47) ＜平成31年 4 月＞ 博士（医学）
		健康の科学
専	准教授	大平 雅子 (37)
		＜令和 2 年 4 月＞
		博士（医学）
専	教授	足立 稔 (57) ＜平成31年 4 月＞ 博士（医学）
		保健体育教育基礎特別 研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	上原 禎弘 (54) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		保健体育授業特別研究
専	教授	土田 了輔 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		保健体育教材特別研究
専	教授	周東 和好 (49) ＜平成31年4月＞ 修士（体育学）
		保健体育授業特別研究 保健体育教材特別研究
		酒向 治子

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	上原 禎弘 (55) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		保健体育授業特別研究
専	教授	土田 了輔 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		保健体育教材特別研究
専	教授	周東 和好 (50) ＜平成31年4月＞ 修士（体育学）
		保健体育授業特別研究 保健体育教材特別研究
		酒向 治子

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	上原 禎弘 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		保健体育授業特別研究
専	教授	土田 了輔 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		保健体育教材特別研究
専	教授	周東 和好 (51) ＜平成31年4月＞ 修士（体育学）
		保健体育授業特別研究 保健体育教材特別研究
		酒向 治子

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	(46) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		保健体育教材特別研究
専	教授	小山 英樹 (55) ＜平成31年 4 月＞ 博士（工学）
		生活の工学
専	教授	入江 隆 (52) ＜平成31年 4 月＞ 博士（工学）
		生活の工学
		宮本 賢治 (50)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	(47) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		保健体育教材特別研究
専	教授	小山 英樹 (56) ＜平成31年 4 月＞ 博士（工学）
		技術教育内容特別研究 生活の工学
専	教授	入江 隆 (53) ＜平成31年 4 月＞ 博士（工学）
		技術教育内容特別研究 生活の工学
		宮本 賢治 (51)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	(48) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		保健体育教材特別研究
専	教授	小山 英樹 (57) ＜平成31年 4 月＞ 博士（工学）
		技術教育内容特別研究 生活の工学
専	教授	入江 隆 (54) ＜平成31年 4 月＞ 博士（工学）
		技術教育内容特別研究 生活の工学
		宮本 賢治 (52)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（工学）
		生活の工学
専	教授	菊地 章 (63) ＜平成31年 4 月＞ 工学博士
		技術教育基礎特別研究 生産と情報 技術授業特別研究 技術教材特別研究
専	教授	伊藤 陽介 (55) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（工学）
		技術教育内容特別研究 生活の工学
専	教授	菊地 章 (64) ＜平成31年 4 月＞ 工学博士
		技術教育基礎特別研究 技術・情報教育基礎特別研究 生産と情報 技術授業特別研究 技術教材特別研究
専	教授	伊藤 陽介 (56) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（工学）
		技術教育内容特別研究 生活の工学
専	准教授	森 太郎 (38) ＜令和 2 年 4 月＞ 博士（環境共生学）
		技術教育内容特別研究 生活の工学
専	特任教授	菊地 章 (65) ＜平成31年 4 月＞ 工学博士
		技術教育基礎特別研究 技術・情報教育基礎特別研究 生産と情報 技術授業特別研究 技術教材特別研究
専	教授	伊藤 陽介 (57) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（工学）
		技術教育基礎特別研究、生産と情報、技術授業特別研究、技術教材特別研究、技術授業特別研究、技術教材特別研究
専	准教授	笠井 俊信 (45) ＜平成31年 4 月＞ 博士（工学）
		生産と情報
専	准教授	掛川 淳一 (41) ＜平成31年 4 月＞ 博士（工学）
		生産と情報
専	教授	黎 子椰 (62) ＜平成31年 4 月＞ 博士（工学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（工学）
		技術教育基礎特別研究、技術・情報教育基礎特別研究、生産と情報、情報教育内容特別研究、技術授業特別研究、技術・情報授業特別研究、技術教材特別研究、技術・情報教材特別研究
専	准教授	笠井 俊信 (46) ＜平成31年 4 月＞ 博士（工学）
		生産と情報 情報教育内容特別研究
専	准教授	掛川 淳一 (42) ＜平成31年 4 月＞ 博士（工学）
		生産と情報 情報教育内容特別研究
専	教授	黎 子椰 (63) ＜平成31年 4 月＞ 博士（工学）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（工学）
		技術教育基礎特別研究、技術・情報教育基礎特別研究、生産と情報、情報教育内容特別研究、技術授業特別研究、技術・情報授業特別研究、技術教材特別研究、技術・情報教材特別研究
専	准教授	笠井 俊信 (47) ＜平成31年 4 月＞ 博士（工学）
		生産と情報 情報教育内容特別研究
専	准教授	掛川 淳一 (43) ＜平成31年 4 月＞ 博士（工学）
		生産と情報 情報教育内容特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		生活の工学
専	教授	宮下 晃一 (58) ＜平成31年 4 月＞ 学術博士
		生活の工学
専	教授	山崎 貞登 (58) ＜平成31年 4 月＞ 農学博士
		技術教育基礎特別研究 技術教育課程特別研究 技術授業特別研究 技術教材特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		生活の工学
専	教授	宮下 晃一 (59) ＜平成31年 4 月＞ 学術博士
		生活の工学 技術教育内容特別研究
専	特任教授	平田 晴路 (66) ＜平成31年 4 月＞ 博士（農学）
		技術教材特別研究 技術情報教材特別研究
専	教授	山崎 貞登 (59) ＜平成31年 4 月＞ 農学博士
		技術教育基礎特別研究、技術・情報教育基礎特別研究、技術教育課程特別研究、技術・情報教育課程特別研究、技術授業特別研究、技術・情報授業特別研究、技術教材特別研究、技術・情報教材特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宮下 晃一 (60) ＜平成31年 4 月＞ 学術博士
		生活の工学 技術教育内容特別研究
専	特任教授	平田 晴路 (67) ＜平成31年 4 月＞ 博士（農学）
		技術教材特別研究 技術情報教材特別研究
専	教授	山崎 貞登 (60) ＜平成31年 4 月＞ 農学博士
		技術教育基礎特別研究、技術・情報教育基礎特別研究、技術教育課程特別研究、技術・情報教育課程特別研究、技術授業特別研究、技術・情報授業特別研究、技術教材特別研究、技術・情報教材特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	森山 潤 (50) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		技術教育基礎特別研究 技術授業特別研究 技術教材特別研究
専	准教授	東原 貴志 (42) ＜平成31年 4 月＞ 博士（農学）
		技術教材特別研究
専	教授	黒川 衣代 (61) ＜平成31年 4 月＞ Master of Science 生活環境と生活文化
		李 璟媛

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	森山 潤 (51) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		技術教育基礎特別研究, 技術・情報教育基礎特別研究, 技術授業特別研究, 技術・情報授業特別研究, 技術教材特別研究, 技術・情報教材特別研究
専	准教授	東原 貴志 (43) ＜平成31年 4 月＞ 博士（農学）
		技術教材特別研究 技術・情報教材特別研究
専	教授	黒川 衣代 (62) ＜平成31年 4 月＞ Master of Science 生活環境と生活文化
		李 璟媛

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	森山 潤 (52) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		技術教育基礎特別研究, 技術・情報教育基礎特別研究, 技術授業特別研究, 技術・情報授業特別研究, 技術教材特別研究, 技術・情報教材特別研究
専	准教授	東原 貴志 (44) ＜平成31年 4 月＞ 博士（農学）
		技術教材特別研究 技術・情報教材特別研究
専	教授	黒川 衣代 (63) ＜平成31年 4 月＞ Master of Science 生活環境と生活文化 家庭科内容特別研究
		李 璟媛

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(57) ＜平成31年4月＞ 博士（社会科学）
		生活環境と生活文化
専	教授	岸田 恵津 (57) ＜平成31年4月＞ 学術博士
		生活の科学
		光永 伸一郎 (53)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(58) ＜平成31年4月＞ 博士（社会科学）
		生活環境と生活文化
専	特任教授	河田 哲典 (65) ＜平成31年4月＞ 農学博士
		生活の科学
専	教授	岸田 恵津 (58) ＜平成31年4月＞ 学術博士
		生活の科学
		光永 伸一郎 (54)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	(59) ＜平成31年4月＞ 博士（社会科学）
		生活環境と生活文化 家庭科内容特別研究
専	特任教授	河田 哲典 (66) ＜平成31年4月＞ 農学博士
		生活の科学 家庭科内容特別研究
専	教授	岸田 恵津 (59) ＜平成31年4月＞ 学術博士
		生活の科学 家庭科内容特別研究
		光永 伸一郎 (55)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（農学）
		生活の科学
専	教授	西川 和孝 (48) ＜平成31年 4 月＞ 博士（農学）
		生活の科学
専	教授	篠原 陽子 (46) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		生活の科学
専	教授	佐藤 園 (60) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（農学）
		生活の科学
専	教授	西川 和孝 (49) ＜平成31年 4 月＞ 博士（農学）
		生活の科学
専	教授	篠原 陽子 (47) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		生活の科学
専	教授	佐藤 園 (61) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜平成31年 4 月＞ 博士（農学）
		生活の科学 家庭科内容特別研究
専	教授	西川 和孝 (50) ＜平成31年 4 月＞ 博士（農学）
		生活の科学 家庭科内容特別研究
専	教授	篠原 陽子 (48) ＜平成31年 4 月＞ 博士（学校教育学）
		生活の科学 家庭科内容特別研究
専	教授	佐藤 園 (62) ＜平成31年 4 月＞

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（教育学）
		家庭科教育基礎特別研究 家庭科授業特別研究 家庭科教材特別研究
専	教授	春日 晃章 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		スポーツの科学
専	教授	岳野 公人 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		技術教育基礎特別研究 技術授業特別研究 技術教材特別研究
専	教授	大藪 千穂 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（教育学）
		家庭科教育基礎特別研究 家庭科授業特別研究 家庭科教材特別研究
専	教授	春日 晃章 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		スポーツの科学
専	教授	岳野 公人 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		技術教育基礎特別研究 技術授業特別研究 技術教材特別研究
専	教授	大藪 千穂 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		博士（教育学）
		家庭科教育基礎特別研究 家庭科授業特別研究 家庭科教材特別研究
専	教授	春日 晃章 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		スポーツの科学
専	教授	岳野 公人 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
		技術教育基礎特別研究、技術 授業特別研究、技術教材特別 研究、技術・情報基礎特別研 究、技術・情報授業特別研 究、技術・情報教材特別研究
専	教授	大藪 千穂 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		生活環境と生活文化
専	教授	與倉 弘子 (59) ＜平成31年 4 月＞ 学術博士
		生活の科学
専	教授	田中 宏子 (56) ＜平成31年 4 月＞ 学術博士
		生活の科学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		生活環境と生活文化
専	教授	與倉 弘子 (60) ＜平成31年 4 月＞ 学術博士
		生活の科学
専	教授	田中 宏子 (57) ＜平成31年 4 月＞ 学術博士
		生活の科学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		生活環境と生活文化 家庭科内容特別研究
専	教授	與倉 弘子 (61) ＜平成31年 4 月＞ 学術博士
		生活の科学 家庭科内容特別研究
専	教授	田中 宏子 (59) ＜平成31年 4 月＞ 学術博士
		生活の科学 家庭科内容特別研究

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

・担当教員昇任のため、小島伸之准教授、小川佳宏准教授、清田哲男准教授、上村弘子准教授が教授に変更（「事前伺い」手続きのため教員資格審査（AC教員審査）不要）。

・出束光夫准教授の退職により教員を見直し、「数理構造論」は複数名で担当のため後任なし。

・宮川健准教授の退職により教員を見直し、「数学授業特別研究」は複数名で担当のため後任なし。

・教育効果向上のため、「課題研究」の担当に原田智仁特任教授、「国語の表現と類型」の担当に田中大輝准教授、「国語授業特別研究」の担当に迎勝彦准教授、「英語文化・コミュニケーション特別研究」の担当に前田一平特任教授、「英語教材特別研究」の担当に畑江美佳准教授、「人間の歴史と地域」の担当に村井良介准教授、「人間の歴史と地域、地域と環境」の担当に橋本暁子准教授、「社会認識教育課程特別研究、社会認識授業特別研究」の担当に中平一義准教授、「社会認識授業特別研究」の担当に福田 喜彦准教授、「数学教育課程特別研究」の担当に林田秀一准教授、「数理構造論、数理基礎科学教育」の担当に松岡隆特任教授、「新しいサイエンス・リテラシー」の担当に中川征樹准教授、「数学の本質と数学教育」の担当に中村登教授、「数学授業特別研究」の担当に布川和彦教授、「エネルギー・環境と生命現象の科学、物質の基礎と機能的物質」の担当に宮口智成准教授、「理科教育における実験観察、理科教材特別研究」の担当に寺島幸生准教授、「地球システム教育」の担当に村田守特任教授、「地球システム教育、理科教育における実験観察」の担当に天野和孝特任教授、「理科教育課程特別研究、理科授業特別研究」の担当に古屋光一教授、「音楽表現と技法」の担当に頃安利秀特任教授、「音楽授業特別研究、音楽教材特別研究」の担当に早川倫子准教授、「技術教材特別研究」の担当に平田晴路特任教授、「生活の科学」の担当に河田哲典特任教授（「事前伺い」手続きのため教員資格審査（AC教員審査）不要）を追加。

【令和2年度】

・担当教員昇任のため、羽田潤准教授、村井良介准教授、斎藤敏夫准教授、山本智一准教授、前芝武史准教授、山本政幸准教授が教授に変更（「事前伺い」手続きのため教員資格審査（AC教員審査）不要）。

・菊地章教授が特任教授に変更（「事前伺い」手続きのため教員資格審査（AC教員審査）不要）。

・小島明子教授の退職により教員を見直し、「国語文化の創造と受容」は複数名で担当のため後任なし。

・谷明信教授の退職により教員を見直し、「英語表現・構造特別研究」は複数名で担当のため後任なし。

・畑江美佳准教授の退職により教員を見直し、「英語教材特別研究」は複数名で担当のため後任なし。

・難波安彦教授の退職により教員を見直し、「社会制度と人間行動」は複数名で担当のため後任なし。

・山本準教授の退職により教員を見直し、「社会制度と人間行動」は複数名で担当のため後任なし。

・西村公孝教授の退職により教員を見直し、「社会認識准教授、生活科教育特別研究」は複数名で担当のため後任なし。

・松岡隆特任教授の退職により教員を見直し、「数理構造論、数理基礎科学研究」は複数名で担当のため後任なし。

・佐伯昭彦教授の退職により教員を見直し、「数学教材特別研究」は複数名で担当のため後任なし。

・吉岡秀文教授の退職により教員を見直し、「エネルギー・環境と生命現象の科学」は複数名で担当のため後任なし。

・山根秀憲教授の退職により教員を見直し、「音楽表現と技法」は複数名で担当のため後任なし。

・草野次郎教授の退職により教員を見直し、「音楽表現と技法」は複数名で担当のため後任なし。

・野崎窮教授の退職により教員を見直し、「美術表現と技法」は複数名で担当のため後任なし。

・山本朝彦教授の退職により教員を見直し、「美術教育基礎特別研究、美術教育課程特別研究」は複数名で担当のため後任なし。

・黎子柳教授の退職により教員を見直し、「生活の工学」は複数名で担当のため後任なし。

・教育効果向上のため、「国語文化の創造と受容」の担当に松田聡教授、「社会認識授業特別研究、社会認識教材特別研究」の担当に山内敏夫准教授、「社会認識教育基礎特別研究、社会認識授業特別研究」の担当に阪上弘彬助教、「数理構造論」の担当に長谷川武博准教授、「エネルギー・環境と生命現象の科学」の担当に猪本修准教授、「音楽表現と技法」の担当に河内勇准教授、「音楽授業特別研究、音楽教材特別研究」の担当に鉄口真理子准教授、「美術表現と技法」の担当に河西栄二教授、「美術表現と技法」の担当に瀬田大輔准教授、「美術表現と技法」の担当に愈期天助教、「スポーツの科学」の担当に藤田雅文教授、「スポーツの科学」の担当に中須寛巧講師、「スポーツの科学」の担当に松田繁樹教授、「スポーツの科学」の担当に上田真也准教授、「健康の科学」の担当に大平雅子准教授、「技術教育内容特別研究、生活の工学」の担当に森太郎准教授（「事前伺い」手続きのため教員資格審査（AC教員審査）不要）を追加。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
42	28	34
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設 置 時 の 計 画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 （A）	助手 （A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （B）	助手 （B'）
141	46	0	0	187	0	155	52	1	2	210	0
(156)	(52)	(0)	(0)	(208)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
113	74	0				130	80	0			
(125)	(83)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 （C）	助手 （C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （D）	助手 （D'）
155	52	1	2	210	0	155	52	1	2	210	0
[14]	[6]	[1]	[2]	[23]	[0]	[14]	[6]	[1]	[2]	[23]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
130	80	0				130	80	0			
[17]	[6]	[0]									

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年 齢 構 成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	7	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) ー④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{210}{187} = \boxed{112.29} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) ー⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{7}{210} = \boxed{3.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) ー⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	准教授	出末 光夫	H31.3	必修	課題研究Ⅰ～Ⅴ	①	H31.3 退職のため就任辞退（元）
				選択	数理構造論	①	
2	准教授	宮川 健	H31.3	必修	課題研究Ⅰ～Ⅴ	①	H31.3 退職のため就任辞退（元）
				選択	数学授業特別研究	①	
合計（D）					後任補充状況の集計（E）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
2	人	必修	2	科目	必修	2	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	4	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	小島 明子	R2.3	必修	課題研究Ⅰ～Ⅴ	①	R2.3.31付け退職のため辞任（2）
				選択	国語文化の創造と受容	①	
2	教授	谷 明信	R2.3	必修	課題研究Ⅰ～Ⅴ	①	R2.3.31付け退職のため辞任（2）
				選択	英語表現・構造特別研究	①	
3	准教授	畑江 美佳	R2.3	必修	課題研究Ⅰ～Ⅴ	①	R2.3.31付け退職のため辞任（2）
				選択	英語教材特別研究	①	
4	特任教授	松岡 隆	R2.3	必修	課題研究Ⅰ～Ⅴ	①	R2.3.31付け退職のため辞任（2）
				選択	数理構造論、数理基礎科学研究	①	
5	教授	佐伯 昭彦	R2.3	必修	課題研究Ⅰ～Ⅴ	①	R2.3.31付け退職のため辞任（2）
				選択	数学教材特別研究	①	
6	教授	黎 子椰	R2.3	必修	課題研究Ⅰ～Ⅴ	①	R2.3.31付け退職のため辞任（2）
				選択	生活の工学	①	
合計（F）					後任補充状況の集計（G）		

辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
6	人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	6 科目	選択	6 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	12 科目	計	12 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)		後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
8	人	必修	8 科目	必修	8 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	8 科目	選択	8 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	16 科目	計	16 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{8}{187} = \boxed{4.27} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1	教授	難波 安彦	必修	課題研究Ⅰ～Ⅴ	①	R2.3.31付け65歳で定年退職（２）							
			選択	社会制度と人間行動	①								
2	教授	山本 準	必修	課題研究Ⅰ～Ⅴ	①	R2.3.31付け65歳で定年退職（２）							
			選択	社会制度と人間行動	①								
3	教授	西村 公彦	必修	課題研究Ⅰ～Ⅴ	①	R2.3.31付け65歳で定年退職（２）							
			選択	社会認識授業特別研究、生活科教育特別研究	①								
4	教授	吉岡 秀文	必修	課題研究Ⅰ～Ⅴ	①	R2.3.31付け65歳で定年退職（２）							
			選択	エネルギー・環境と生命現象の科学	①								
5	教授	山根 秀憲	必修	課題研究Ⅰ～Ⅴ	①	R2.3.31付け65歳で定年退職（２）							
			選択	音楽表現と技法	①								
6	教授	草野 次郎	必修	課題研究Ⅰ～Ⅴ	①	R2.3.31付け65歳で定年退職（２）							
			選択	音楽表現と技法	①								
7	教授	野崎 窮	必修	課題研究Ⅰ～Ⅴ	①	R2.3.31付け65歳で定年退職（２）							
			選択	音楽表現と技法	①								
8	教授	山木 朝彦	必修	課題研究Ⅰ～Ⅴ	①	R2.3.31付け65歳で定年退職（２）							
			選択	美術教育基礎特別研究、美術教育課程特別研究	①								
合計					後任補充状況の集計								
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
8	人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	8	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	16	科目	計	16	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」

辞任した専任教員の担当科目は他の専任教員が当該科目を担当するため、科目の未開講は生じず学生への影響はない。

「学生への周知方法」

履修手引きに係る冊子(便覧)等により周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
該当なし			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

＜連合学校教育学研究科学校教育実践学専攻＞

＜連合学校教育学研究科先端課題実践開発専攻＞

＜連合学校教育学研究科教科教育実践学専攻＞

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

（上越教育大学）

① 実施体制 - a 委員会の設置状況 ・ ファカルティ・ディベロップメント委員会 - b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） ・ 例年、3～5回開催している。令和元年度は年5回開催。 - c 委員会の審議事項等 ・ FD活動の企画立案 ・ FD活動の評価 ・ FD活動に関する情報の収集と提供 ・ その他FDに関すること。 ② 実施状況 - a 実施内容 ・ 学生への授業評価アンケートの実施及びそれに基づく教員による自己評価レポートの作成 ・ 教員相互の授業公開（参観） ・ アクティブ・ラーニングをテーマにしたFD研修会・講演会の開催 - b 実施方法 ・ FD活動については、ファカルティ・ディベロップメント委員会が主管委員会として主導し、全学的に参加を呼び掛けている。 - c 開催状況（教員の参加状況含む） ・ FD研修会 令和2年1月15日（水）に開催、令和元年度は、アクティブ・ラーニングの推進を目的とした、学生による学生への学修支援をテーマとした。参加者は、29名。 ・ FD講演会 令和2年3月16日（月）に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。 ・ 授業評価 前期は7月中旬～8月上旬、後期は1月下旬～2月上旬にWebシステムによるアンケートを実施 アンケート回収率は、前期28.4%、後期13.9%、年間21.2%（学部・大学院合算） ・ 授業公開 前期は6月、後期は11月に開催し、多数の教員から参観いただいた。 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ・ 授業評価アンケートの結果は、授業担当教員にフィードバックされるとともに、授業担当教員にはアンケート結果を基に授業の問題点の認識と授業改善を目指して、自己評価レポートを作成することを義務付けており、学生の意見聴取を基にした自己点検・評価並びに授業改善を実施している。 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 - a 実施の有無及び実施時期 ・ 前期・後期の各最終授業のタイミングを中心に、それぞれ2週間ほど期間を設けて実施している。 - b 教員や学生への公開状況、方法等 ・ 報告書として作成し、本学全学共有フォルダ（GoogleDrive）にて公開している。
--

① 実施体制

- a 委員会の設置状況
 - ・ 教育学部教育改善室
- b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ 令和元年１２月：２回開催、令和２年３月
- c 委員会の審議事項等
 - ・ 教育の質保証に係る基本方針及び方策に関すること。
 - ・ 卒業認定・学位授与方針の確認に関すること。
 - ・ 教育課程編成・実施の方針の確認に関すること。
 - ・ 学修成果の達成度の確認に関すること。
 - ・ 教育課程の点検・評価に関すること。
 - ・ 学生支援の点検・評価に関すること。
 - ・ 学生等からの意見聴取に関すること。
 - ・ 岐阜大学における教育の質保証に関する要項第５条に定める点検・評価に関すること
 - ・ 機関別認証評価等、教育評価への対応に関すること。
 - ・ 前各号を踏まえた教育の改善に関すること。
 - ・ その他教育の質保証に係る点検、評価及び改善に関すること。

② 実施状況

- a 実施内容
 - ア 学生への授業評価アンケートの実施
 - イ リフレクションペーパー
 - ウ 新任教員のための研修会（全学） 等
- b 実施方法
 - ア 学生の参画を得て実施
 - イ 教員が作成
 - ウ 講義形式
- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ 授業評価ＦＤ（年２回）
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・ 授業評価アンケート調査結果に対し各教員がリフレクションを実施した内容を、授業評価ＦＤにより紹介し、授業改善を促している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
 - ・ 前期・後期の各最終授業にて実施している。
- b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・ 評価結果を教員に配付している。

(滋賀大学)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

国立大学法人滋賀大学教育・学生支援機構 教育推進部門 別添規程のとおり

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

国立大学法人滋賀大学教育・学生支援機構 教育推進部門会議
全6回（臨時開催1回、持ち回り審議1回を含む）：委員7名

c 委員会の審議事項等

学士課程及び大学院課程における教育改革、ファカルティ・ディベロップメントの促進、教養教育及び

② 実施状況

a 実施内容

- ・教育の内部質保証に係る自己点検・評価・検証
- ・教育実践優秀賞の選考
- ・教育改革フォーラムの開催
- ・FDセミナーの開催
- ・学長裁量経費を活用した学部で実施する教育改革に係る取組みの総括
- ・FD事業報告書の編集・発行
- ・FD情報誌「su-L」の編集・発行
- ・アクティブ・ラーニングの促進
- ・科目ナンバリングの導入支援及びシラバスの改善
- ・成績評価に係るガイドラインの作成
- ・学修成果の可視化に向けた検討
- ・e-Learningシステム、LMSの運用管理
- ・関西FD連絡協議会参加大学が開催するFD講習会の学内周知、参加仲介等

b 実施方法

- ・教育・学生支援機構教育推進部門が企画を行い、学務課が各学部と連携し実施・運営を行う。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

（本学開催）

- ・令和元年度滋賀大学教育改革フォーラム
「認証評価と教育の内部質保証に関する研修会」
【開催：令和元年10月29日 参加者560名】
- ・令和元年度滋賀大学FDセミナー
「3つのポリシーと学修成果の可視化」
【開催：令和2年1月16日 参加者31名】
- ・FD公開授業「アクティブ・ラーニングの手法を学ぶ授業参観」
【開催：令和元年5月23日、6月20日 参加者延べ14名】
- ・教育学研究科高度教職実践専攻（教職大学院）「学校経営力開発コースFD学習会」
【開催：令和元年7月12日 参加者3名】
- ・教職大学院FD研修会（実務家教員・研究者教員の協働）
【開催：令和2年2月26日 参加者10名】

（他大学開催）

他大学が主催するAP事業に関するシンポジウム、研修会に教職員を派遣した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教育・学生支援機構教育推進部門で前述のとおり各種の取り組みを行い、フォーラムやセミナーの開催、FD事業報告書やFD情報誌「su-L」の発行を通じて学部が取組の成果をフィードバックした。また、学部の教員や関係者を学外のセミナー、研修会等に派遣し、他大学の先進的な取り組みについて情報収集させ、次年度以降の学部単位でのFD活動の準備を行った。これらの実施結果を踏まえ、授業においてアクティブ・ラーニングを取り入れた科目の充実、シラバスの改善、教養教育の充実等に関する取り組みを行った。また、教育の内部質保証に関する自己点検・評価・検証を実施した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・実施 有（毎年度毎学期）
- ・実施の時期 前期：7月中～下旬、後期：1月中～下旬

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・教員へは、集計及び分析結果を文書で返却し、受講傾向、成績等と併せ授業の改善・発展の手がかりとなるよう活用してもらっている。
- ・学生へは、滋賀大学学習管理システム（SULMS）にて、集計結果を掲載し、学生にフィードバックしている。

(兵庫教育大学)

① 実施体制

- a 委員会の設置状況
 - ・ ファカルティ・ディベロップメント推進委員会
- b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ 年5回程度
- c 委員会の審議事項等
 - ・ F Dに係る調査・研究に関すること。
 - ・ 教育の内容及び方法を改善するための支援に関すること。
 - ・ 教育改善に係る評価に関すること。
 - ・ その他F Dに関すること。

② 実施状況

- a 実施内容
 - ・ 学生への授業評価アンケートの実施
 - ・ 教員相互の授業参観
 - ・ アクティブ・ラーニングについての研究会を開催
 - ・ ベストクラスの選定
- b 実施方法
 - ・ 教員と事務職員が協働し、学生の参画を得て行っている。
- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ アクティブ・ラーニング研究会を実施している。
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・ 高評価の授業について、授業を公開することによって、授業改善のアイデアや手法等の情報を共有し、大学全体の授業改善を推進することを目的に、公開授業と授業研究会の2部制で実施している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
 - ・ 前期・後期の各最終授業にて実施している。
- b 教員や学生への公開状況，方法等
 - ・ 本学学内webページにて公開している。

① 実施体制

- a 委員会の設置状況
 - ・ F D委員会
 - ・ 教務委員会
 - ・ カリキュラム改善懇談会
- b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ 年8回程度（F D委員会）
 - ・ 年13回程度（教務委員会）
 - ・ 年1回程度（カリキュラム改善懇談会）
- c 委員会の審議事項等
 - ・ F Dに係る調査・研究に関すること。（F D委員会）
 - ・ 教育及び研究の内容及び方法を改善するための支援に関すること。（F D委員会）
 - ・ その他F Dに関すること。（F D委員会）
 - ・ 教育課程の編成及び授業計画に関すること。（教務委員会）
 - ・ 教務に関する規程等の原案作成に関すること。（教務委員会）
 - ・ 講義室等の使用計画及び教育設備の改善に関すること。（教務委員会）
 - ・ 休学、退学、科目等履修生の受入れ等、学生の学籍に関すること。（教務委員会）
 - ・ その他、教務に関し必要と認められること。（教務委員会）
 - ・ 教育課程の編成及び充実に関すること。（カリキュラム改善懇談会）
 - ・ 授業及び効果的な教育環境の改善に関すること。（カリキュラム改善懇談会）

② 実施状況

- a 実施内容
 - ・ 授業評価アンケート結果の分析・検討（教務委員会）
 - ・ 授業公開（F D委員会）
 - ・ 教員養成カリキュラムの改善に関わる研修会（F D委員会）
 - ・ 科研費申請に向けた研修会（F D委員会）
 - ・ E S Dに関する取組についての説明会（F D委員会）
 - ・ 国際バカロレアに関するF D研修会（F D委員会）
 - ・ カリキュラム等に関する懇談会（カリキュラム改善懇談会）
- b 実施方法
 - ・ F D委員会及び教務委員会を中心とし、各講座等の協力のもと行っている。
- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ 教員を対象に教員養成カリキュラムの改善に関わる研修会等を実施している。（F D委員会）
 - ・ 教員・学生を対象にカリキュラム等に関する懇談会を実施している。（カリキュラム改善懇談会）
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・ 授業公開後に情報交換会を開催することにより、授業改善のアイデアや手法等の情報を共有している。
 - ・ カリキュラム等に関する懇談会開催後に教授会へ実施状況を報告することにより、学生からの意見・要望等の情報を共有している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
 - ・ 各学期の授業最終回までに実施している。
- b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・ 教養教育科目について、本学学内webページにて公開している。
なお、専門教育科目は、教員限定にて公開している。

① 実施体制

a 委員会の設置状況

学部・大学院ファカルティ・ディベロップメント委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和2年度は、年間3～4回の開催を予定している。

参加者は、副学長（3人）、各専攻長（3人）、各副専攻長（4人）、教務課長。

c 委員会の審議事項等

FD事業の運営に関すること。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業方法について研究会
- ・ 教員相互の授業参観

b 実施方法

- ・ 授業方法について研究会
授業研究会の実施。目的に沿った講演会を実施。全体で討議。

- ・ 教員相互の授業参観

各専攻ごとに決定した授業を公開。教員は、1科目以上を参観。参観した教員は、「授業観察記録」を作成し、授業担当教員に送付。授業担当教員は、「授業観察記録」により授業改善を実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 授業方法について研究会
授業研究会及び講演会を年間1回実施予定。
- ・ 教員相互の授業参観
年1回実施予定。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

講演会等を行うだけでなく、討論会を実施することで、教員間の意識統一ができ、授業改善に役立っている。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

計画通りに実施している。今後も引き続き設置の趣旨・目的の達成に向け教育研究活動に取り組む。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和2年7月末 公表予定

b 公表方法

・平成31事業年度年度計画に係る自己点検・評価書を、大学ホームページに公開予定（令和2年7月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・令和3年度に評価機構の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ ☒ 有 ・ ☐ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和2年7月末 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。